

**2016 年度  
入試問題集**

教養問題（現代文）

（五枚のうち1）

問題一

問一 次のa～eの文の空欄に入る最も適当な語を、後の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a i 1, b i 2, c i 3, d i 4, e i 5。

- a 一本世は豊臣秀吉の天下とはなつたものの、血<sup>なま</sup>腥<sup>にぎ</sup>い戦国の（ ）はこの京洛の巷<sup>ちやう</sup>にもまだ漂<sup>なま</sup>つていた。  
b 神々の王の名にふさわしく、木星は（ ）堂々として孤高の光を放つていた。  
c 少し肥満気味の体なのに、（ ）のように走り出してすぐに姿を消してしまつた。  
d （ ）選挙だからといって、投票率を下げないためにも、選挙運動をしないわけにはいかない。  
e この街は伊勢に通じる街道にあるため、旅人をもてなすことを楽しみとする（ ）があつた。
- ① 清風 ② 家風 ③ 無風 ④ 突風 ⑤ 気風  
⑥ 異風 ⑦ 遺風 ⑧ 威風 ⑨ 疾風 ⑩ 偏西風

問二 次のa～eの空欄には慣用句を構成する語が入る。それぞれ最も適当なものを、後の①～⑩の中から一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a i 6, b i 7, c i 8, d i 9, e i 10。

- a 斜に（ ）て皮肉ばかり言つている人にも、彼女はきまじめに語りかけていた。  
b 理はこちら側にあるのだから、もし誰かが横車を（ ）てきても、裁判で争えばよい。  
c 世の中の嗜好が変わり店が傾くのを、伝統だけに縛られて指を（ ）て見ていたわけではない。  
d 見過ぎから祖父は長火鉢の前に御興を（ ）て、夕刻まで書き物にしこんでいた。  
e 他人の恋路のことはやら知られたるのに、自分の恋については適当なことを言つてお茶を（ ）てばかりだ。
- ① 据え ② 押し ③ 伸び ④ 流し ⑤ くわえ  
⑥ なめ ⑦ 濁し ⑧ 付け ⑨ 構え ⑩ 滑らせ

問題二

問三 「AさんがBさんに」教えてもらった、ということをして、次のa～eの敬意を示す言い方はどのようになるか。後の①～⑩の中からそれぞれ最も適当なものを一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a i 11, b i 12, c i 13, d i 14, e i 15。

- a Aさんだけに敬意を示す言い方  
b Bさんだけに敬意を示す言い方  
c Cさんだけに敬意を示す言い方  
d AさんとBさんに敬意を示す言い方  
e BさんとCさんに敬意を示す言い方
- ① 教えてもらいました。  
② 教えてもらいなさつた。  
③ 教えてもらいなさいました。  
④ 教えていただいた。  
⑤ お教えいただきました。  
⑥ お教えいただきました。  
⑦ お教えしていただきました。  
⑧ お教えしていただきました。  
⑨ 教えてさしあげた。  
⑩ 教えてさしあげました。

（五枚のうち2）

問四 次の文中の空欄a～eに入る最も適当な語を、後の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a i 16, b i 17, c i 18, d i 19, e i 20。なお、同一の記号の空欄には同一の語が入る。

京都市は30日、倒壊の恐れがある上京区の空き家を撤去する行政代（ a ）に着手した。市が行政代（ a ）で空き家を解体するのは初めて。  
市によると、空き家は木造平屋の住宅兼工場（総面積67平方メートル）で、西陣織の工場として使われていたと見られる。（ b ）上のある者が2人いるが1人は死、1人も連絡がつかず、所有実態が確認できなかった。屋根が崩れ、倒壊の危険があるため、市が3月に撤去を求める（ c ）を行つていた。  
この日、市職員が代執行宣言を読み上げた後（ d ）業者が建物内を確認し、立ち入りを規制するフェンスを設置した。5月11日に解体を始め、6月8日までに撤去する。  
市は、空き家の増加が周辺の住環境に悪影響を及ぼすのを避けるため、昨年4月、空き家の管理を適正化する条例を（ e ）。（ ）損壊が激しい場合、所有者に是正を指導する。今回と同様の、損壊の激しい空き家は3月末現在で市内に195戸あり、うち90戸は所有者不明という。

- ① 公告 ② 公募 ③ 登記 ④ 簿記 ⑤ 結託  
⑥ 委託 ⑦ 悪徳 ⑧ 陰徳 ⑨ 施行 ⑩ 執行

問題二

次の文章を読み後ろの設問に答えよ。

さて、いよいよ男女雇用機会均等法である。  
均等法は、一九七二年に施行された「勤労婦人福祉法」が一九八五年に改正され、翌年に施行されたものである。その後、一九九七年、二〇〇六年、二〇一四年と改正を重ねてきたが、趣旨は「募集・採用」「教育訓練」「昇進・降格」「定年・解雇」「福利厚生」といった要素において男女の差別をなくし、改正を重ねることに禁止事項が増えている。  
均等法についてしばしば指摘される問題は、a「抜けど」の存在である。均等法についての議論では、「間接差別」の取り扱いが焦点となる。というのは、たとえ募集・採用において明示的・直接的に男女差別をしていなくても、「これに依るものは男性にとつては問題ではないだろうが、女性にとつては厳しいだろう」と考えられるような要件を設けることによって、実質的に差別的採用を行ってしまうからである。

典型的には転勤要件がそれにあたる。全国や海外に支店がある大企業が総合職の募集・採用要件に「転勤」を設けることは、現状の均等法でも禁止されていない。禁止されるのは、「合理的な理由なく」転勤を要件とすることである。合理的ではないケースとは、具体的には以下のようなものだ。すなわち、「広域にわたり展開する支店・支社等がなく、かつ、支店・支社等を広域にわたり展開する計画等もない場合」ならびに「広域にわたり展開する支店・支社等はあるが、長期間にわたり、家庭の事情その他の特別な事情により本人が転勤を希望した場合を除き、転居を伴う転勤の実態がほとんどない場合」（厚生労働省告示）である。

逆にいえば、会社に転勤の実績がある場合、応募者が転勤を拒めば採用や昇進においてそれを基準に不採用・昇進見送りをしても問題ではない、ということになる。間接差別禁止におけるこうした中途半端な基準のせいで、日本企業のおおくは女性を総合職から排除できた。

詳しく見てみよう。一九八六年の均等法施行前後に、従来の男女別の雇用を「コース別採用」に切り替える企業が多くなった。コース別採用とは、典型的には正社員を総合職と一般職に分けて募集・採用する方法である。総合職は従来の男性正社員がとつてきたキャリアで、職種・勤務地などの無限定性を受け入れることが求められる。一般職は総合職と違って転勤がほぼなく、職務内容は総合職社員のサポートで、総合職よりも職務内容に限定性がある。賃金率や昇給幅は総合職のほうが高い。

企業は直接的に「総合職は男性、一般職は女性」という募集・採用・配置をしてきたわけではない（それは法律に反する）。しかし、総合職採用に転勤要件を設けることによって、総合職はほとんど男性、一般職はほとんど女性というかを維持してきた。このような差別的採用の結果、厚生労働省の調査によれば、調査対象企業の総合職採用者に占める女性の割合は、二〇一一年度になつても、わずか一一・六％であつた（「コース別雇用管理制度の実施・指導状況」）。もちろん、そもそも総合職を目指す女性の割合が少ないという事情もある。学生は企業の採用方針を知っているの、就職難でもなく採用内定が欲しい女子学生は、採用確率が高い一般職や限定総合職に応募することが多いのである（同じ企業にはたいてい一年に一度しか応募するチャンスがない）。限定総合職とは、一定のエリア（たとえば関西圏）内での異動しか経験しないかわり、限定なしの総合職に

比べれば賃金の上昇幅が小さいような職種である。

他方で応募数の差のみでは説明できないデータもある。同じ厚労省の調査結果によれば、二〇一一年に採用された応募者に対する内定者の割合は、男性が五・八％であるのに対して、女性は一・六％であった。また、二〇〇〇年に総合職の女性を採用した企業の約半数において、<sup>d</sup>二〇一〇年後の二〇一〇年には、全員が離職してしまっていたのである。

さて、ここで「一つ奇妙なパラドックスがあることに気づいた読者はいるだろうか」。

先ず、職種・勤務時間・勤務地について限定されない総合職正社員の働き方は、実質的に女性（や外国人）を排除するように作用する、ということ述べた。男女雇用機会均等法は基本的に、この無限定的な働き方をとする総合職の採用において女性を差別するな、という趣旨の法律である。たとえば厚労省が企業向けに作成した「コース別雇用管理の留意点」には、「労働者の意欲、能力、適性等に応じ、総合職への転換を積極的に行進め、経験、能力を十分に評価した処遇が行われるよう配慮しましょう」「『総合職』の女性割合が四割を下回っている場合には、『総合職』に女性を積極的に採用したり、

しかし、男性と女性がともに対等な立場で働ける環境を実現するためには、男女ともに総合職的な働き方を抑制する必要があるのに、均等法の趣旨は男性のみならず女性も総合職的な働き方に引き入れようとするものになっている。したがって現行の均等法ならびにその「差別禁止」の理念が実現した先にあるのは、おそらく従来どおりの性別分業社会なのだ。

その理由は極めて簡単である。転勤あり、残業あり、職務内容に限定性がないために負担が大きい、といった特徴を持つ総合職的な働き方を日本人男性が（過労死という重大犠牲をとまなつつも）なんとかこなしてきたのは、私生活をサポートする仕組みがあったからである。それは一人暮らしの独身男性にとってはまかない付きの独身寮やコンビニであり、実家通いの男性にとっては母であり、有配偶の男性にとっては妻である。

では女性が同じような働き方をする際には、誰がサポートするだろうか。男性以上に女性の多くは実家通いなので、母親もフルタイムで働いていないかぎり、頼ることができよう。ただ一人暮らしの場合、女性が一人でできる独身寮を持つ会社の数は少ない。また実家暮らしでも、祖父母に重い介護の必要が出てきたとき、母でも男性（父や息子）でもなく、孫にあたる独身女性が仕事を減らしたり諦めたりするという例もある。

とはいえ、独身時のサポートについては男女でそれほど大きな差はないだろう。大きな差が出てくるのは結婚してからである。無限定的な働き方をする人が世帯にいる場合、そうではない人（たとえば専業主婦）が同じ世帯にいてサポートするならば私生活のレベルは落ちないし、子どもを産み育てることも可能であろう。しかし無限定社員と無限定社員のカップルだけでは無理である。その結果、女性の側がキャリアを断念することになりやすい。ましてやどちらかに転勤が命じられれば、片方の（たいていは女性の）キャリアプランは破壊される。パートナーのどちらかに転勤の可能性があるとだけで、持ち家を買うかどうかの判断などに必要な、生活の長期的見通しが立たなくなることもあるだろう。

この章の冒頭の内容をもう一度思い出してみよう。ある社会の状態（ここでは男女の雇用格差）は、必ずしも制度の意図した結果としてもたらされたとは限らない。むしろ構造的な要因や非公式の慣習の制度の（意図せざる）結果であることが多い。日本の正社員の、「いろんな仕事（職務）を、いろんな場所で、時間の制限なく」遂行するという働き方は、もちろんそこから女性を排除しようという目的で普及してきたものではない。だからこそ、政府は無限定的に男性的な働き方の世界に女性を引き入れる法制度を整備することに躊躇しなかったのである。

e 内部労働市場で男性が柔軟に配置され、外部労働市場（ここでは非正規の労働市場）で女性が柔軟に雇用され、場合によっては農家や自営業が失業者を吸収する（「いい仕事が見つからないから田舎に帰る」パターン）のが、日本の「全部雇用」の社会経済構造であった。それは一九八〇年代までは日本型福祉の基にある労働のあり方として、ポジティブに捉えられることが多かった。しかし、この社会構造は意図せざる結果として、女性を基幹労働力から排除した。この性別分離された労働市場の構造を矯正するために、均等法が施行・改正されてきたのだが、効果を十分に発揮できなかった。たしかに均等法は採用や昇進におけるあからさまな男女差別を禁止するものではあった。しかし、女性が基幹労働力から排除されてきた最大の原因は、基幹労働力の働き方自体にあったのである。

以上、均等法が意図せざる結果として性別分業を維持させてきたこと、その理由は従来の「男性的働き方」における無限定性を緩和したうえで女性をそこに呼びこむのではなく、従来どおりの男性的働き方のなかに女性を組み入れようとしてきたことにある、ということ論じてきた。もちろん均等政策を進める厚労省は、ワークライフバランスにも配慮するよう促している。先に紹介した「留意点」には、「女性の能力発揮に向けての環境の整備を図りましょう」とうたっている。その内容は、「出産・育児を機に女性が不利にならないように配慮せよ」というものだ。しかし出産・育児期が終わっても手のかかる人間（子どもと夫）が家からいなくなるわけではない。それこそが転勤すれば、自分のキャリアも考えなくて出てくる（なかには夫が單身赴任したほうが手のかかる人間が一人いなくなる分、楽になると考える女性もいるようで、問題の根深さを感じさせるのだが

日本政府のこれまでの両立支援政策の方針は「女性を従来の男性的な働き方に近づけましよう、ただし出産・育児期は配慮します」というものだ。出産・育児期以外は男性と同じ働き方を要求され、<sup>f</sup>それに対する政策上の配慮もない。たとえ子どもがいなくても、私生活のレベルを一定に保つのは、「残業のあるフルタイム勤務の夫婦二人のみ」の家族では難しい。これではおそらくほんとうの意味での「共働き」カブプルは増えない。

EJ加盟国では、各国が順守することを要請された「指令」によって労働時間の上限規制が実質化したため、残業は例外的にしか発生しない。そのため、フルタイム雇用に従事する男女が子育てしながら、長期的なキャリアを形成することが当たり前になった。公的な育児サービスも、日本より安価に受けられることができる。

また、EJでもアメリカでも、仕事は職務単位で組織される。一人の人間が無限定的にいろんな職務を掛け持ちしたり、責任の範囲が曖昧なチーム労働をしたりますことはあまりない。そのため労働時間を自分で調整したり、場合によっては一時的に仕事を辞めて、しかるべきタイミングで再びフルタイムの仕事を探すことも、日本より容易である。転勤はほばないが、たとえパートナーが離れたところで仕事を始めることになっても、<sup>g</sup>家族で移動してそれなりの収入がある仕事を探すという選択は十分に考えられる。

もちろん、成果が要求されるようなハイレベルの管理職や専門職においては、労働時間が長くなることもある。しかもアメリカでは、かなり強力な男女差別禁止の法制度はあるが、両立支援のための公的制度は全く充実していない。それでも共働き子育てのカップルが多いのは、共働きで収入を増やしてベビシッターを雇用するなど、育児サービスを市場で調達できるからである。

日本の両立支援に立ち戻れば、出産・育児期のサポートはそれなりに充実しており、EJ諸国と比べて大きく見劣りするようなものではない。それでも共働き社会が実現できないのは、やはり「男性的働き方」に女性を引きこもうとしているからである。「均等法」と「育児・介護休業法」を組み合わせれば、<sup>h</sup>それが可能になる、と多くの人が考えてしまったからであろうが、実際はそうではなかった。

問一 傍線部aの「抜け道」とは、具体的に何か。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。  
解答番号は 21。

- ① 「間接差別」の取り扱いについての議論
- ② コース別採用
- ③ 合理的な理由のある転勤要件を典型とする違法行為
- ④ 合理的な理由のない転勤要件
- ⑤ 間接差別禁止における中途半端な基準

問二 傍線部bの「逆にいえば」は、何を逆に言っているのか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 22。

- ① 全国や海外に支店がある大企業が総合職の募集・採用の要件に「転勤」を設けること
- ② 限られた地域のみを展開する会社が総合職の募集・採用の要件に「転勤」を設けること
- ③ 募集・採用において一般職を含めて「合理的な理由なく」転勤を要件とすること
- ④ 総合職の募集・採用において「合理的な理由なく」転勤を要件とすることが禁止されていること
- ⑤ 募集・採用において転勤要件を設けることが一般的に禁止されていること

問三 傍線部cに「二〇一〇年後の二〇一〇年には、全員が離職してしまっていた」とあるが、筆者はその大半の理由をどのようなものと考えていると考えられるか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 23。

- ① 本人の希望又は会社の命令により、総合職から一般職に転換したから
- ② 定められた規則があるわけでもないのに、慣習にならって結婚を機に寿退社したから
- ③ 私生活をサポートを得られず、無限定的な働き方を続けることができなくなったから
- ④ 得意とする職務を活かすため、無限定的な働き方の総合職から離れたから
- ⑤ 認められている休業期間が終わった後も、育児か介護を続けなければならなかったから

問四 傍線部dの「一つ奇妙なパラドックス」とは、具体的に言うとか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 24。

- ① 性別分離された労働市場の構造を矯正するために、施行・改正されてきた均等法が、性別分業を維持させてきたこと
- ② 男女の雇用格差を修正するための均等法が、男女のワークライフバランス格差を産んでいること
- ③ 応募数の差のみでは説明できないデータが如実に示すように、依然として女性に対する就職差別が存在すること
- ④ 男女別の雇用からコース別採用に切り替えることで、却って総合職に占める女性の割合が低下したこと
- ⑤ 均等法が施行された後、総合職の女性がより多く離職するようになったこと

問五 傍線部eの「内部労働市場で男性が柔軟に配置され」とはどういうことか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 25。

- ① 私生活をサポートする仕組みがあつたため、男性が無限的な働き方をこなしてきたこと
- ② 有配偶の男性が一つの企業に定年まで雇用されることで、日本型福祉を成り立たせていたこと
- ③ 負担が大きい無限的な働き方を受け入れることで、男性の雇用が優遇されていたこと
- ④ 男性が自分の都合で勤務地や職務、勤務時間を変更できること
- ⑤ 男性が会社の都合で勤務地や職務、勤務時間を変更されること

問六 傍線部fの「それ」の指示内容は何か。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 26。

- ① 両立支援
- ② 女性が従来の男性的な働き方に近づくこと
- ③ 出産・育児期以外
- ④ 女性が男性と同じ働き方すること
- ⑤ 出産・育児期以外は男性と同じ働き方を要求されること

問七 傍線部gに「家族で移動してそれなりの収入がある仕事を探す」という選択肢は十分に考えられる」とあるが、それはどうしてか。次の①～⑤の中からその理由として最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 27。

- ① 残業は例外的にしか発生しないから
- ② 仕事は職務単位で組織されるから
- ③ 労働時間を自分で調整できるから
- ④ 公的な育児サービスも、日本より安価に受けることができるから
- ⑤ 育児サービスを市場で調達できるから

問八 傍線部hの「それ」の指示内容は何か。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 28。

- ① 両立
- ② 両立支援
- ③ 共働き社会
- ④ 共働き社会の実現
- ⑤ 「男性的働き方」に女性を引きこむこと

## 英 語

(三枚のうち1)

I 次の対話文の空欄 ( 1 ) ~ ( 3 ) に入れるのにもっとも適当なものを、①~④の中から一つ選びなさい。

A: Hello, Joe. ( 1 )  
 B: Hello, Aunt Mary.  
 A: How are you doing? How do you like your school?  
 B: I'm doing okay. School's fun. I've made some new friends.  
 A: ( 2 ) What's your favorite subject?  
 B: I like biology, and I'm pretty good at it. But I'm weak in mathematics.  
 A: That's okay. Try your best.  
 B: Yes, I'll do my best. Oh, and I joined the basketball club.  
 A: Wow! Do you practice after school?  
 B: Yes, and sometimes we have games on weekends.  
 A: ( 3 ) I'm glad you are having fun.

- 1 ① How are you?  
 ② What's your name?  
 ③ How do you do?  
 ④ Long time no see.
- 2 ① I'm happy when my old friends call me.  
 ② Good to hear that.  
 ③ What is your friend's name?  
 ④ How do you like chemistry?
- 3 ① You sound very busy.  
 ② You listen to the teachers and coaches.  
 ③ Let me see your muscles.  
 ④ Good luck on your game this weekend!

II 次の 4 ~ 13 の空欄に入れるのにもっとも適当なものを、①~④の中から一つ選びなさい。

- 4 I can't remember ( ) taking a single day off work.  
 ① him ② my father ③ my father is ④ he has been
- 5 You need to write three essays ( ) the end of the semester.  
 ① till ② to ③ until ④ by
- 6 Do not talk ( ) your mouth full.  
 ① at ② in ③ into ④ with
- 7 I don't ( ) of her taking the train alone.  
 ① admit ② approve ③ object ④ agree
- 8 ( ) in your place, I would definitely move to France.  
 ① Am I ② Was I ③ Were I ④ If I be
- 9 Hurry up, ( ) you'll miss the school bus.  
 ① and ② or ③ nor ④ however
- 10 ( ) you have to do is come here by 7.  
 ① All ② Every ③ Whole ④ Entirely
- 11 What did they say ( ) around the world?  
 ① trip ② travel ③ to trip ④ to traveling
- 12 "What do you ( )?" "I am a college student."  
 ① study ② work ③ do ④ become
- 13 You need ( ) so much, for your daughter is such a good girl.  
 ① don't worry ② didn't worry  
 ③ haven't worried ④ not have worried

## 英 語

(三枚のうち2)

III 次の (A) ~ (C) の日本語に合うように、それぞれ①~⑥の語句を用いて英文を完成させた時、空欄 ( 14 ) ~ ( 19 ) にあてはまる語句を選びなさい。

(A) 私の仕事はあなたの仕事同様に重要です。

My work ( ) ( 14 ) ( ) ( ) ( 15 ) ( ).

- ① yours ② than ③ is  
 ④ no ⑤ less ⑥ important

(B) よくも私にそんな口がきけるね。

( ) ( 16 ) ( ) ( ) ( 17 ) ( ) like that!

- ① me ② you ③ talk  
 ④ how ⑤ to ⑥ dare

(C) まだ決心がつかないので同意できません。

I haven't made ( ) ( 18 ) ( ) ( ) ( 19 ) ( ) agree with you.

- ① my ② to ③ mind  
 ④ enough ⑤ sufficiently ⑥ up

IV 次の英文を読んで、設問に答えなさい。

## Our First-choice Japanese Students

"I find Japanese students best for our homestay program," a British couple stated. Then, they continued, "We have let international students stay at our house for a long time. I like Japanese students best of all. We had accepted any students regardless of nationality before, but I have requested our students to be only Japanese since three years ago."

Their statement differed greatly from what I had expected. I had heard before that many Japanese students had a poor reputation among host families because they are shy and aren't good at entertaining others through conversation. When I asked, "Why do you like Japanese students?" they explained merits that Japanese students have. "There are three main reasons. First, Japanese people like to keep their rooms neat and clean. They don't make a mess. Second, they observe rules. Third, they are polite and don't make unreasonable requests." These strong points are what Japanese people in general take for granted. (A) I was pleased at the British people's recognition of these merits, but I still had some doubt about the students' ability to communicate. When asked, "Many Japanese students don't speak much, so don't you feel they leave something to be desired in conversation?" the couple offered a favorable reply. "At first we thought so because many Japanese are reserved, but little by little, they all gained confidence about speaking English and began to open up. We became able to keep the ball rolling."

British people aren't so direct as other Western people when making requests. (B) Having the value of "reservedness" in common with Japanese students, British people probably had a good understanding of the Japanese students' psychology. The students, however, have to take into consideration the fact that many other Western people complain of their indecisive attitudes. It is essential for Japanese students to make reasonable requests when staying with Western people's families. For instance, your family might keep serving a food you don't like. Rather than have it left over each time, you first need to communicate with words like, "I'm sorry, this food doesn't agree with my stomach." Also, when asked to go somewhere you aren't interested in, it would be better to convey your personal preferences clearly and immediately rather than go and look bored. You can say something like, "I would rather go to a museum or a movie theater." It is important for you to state your opinions actively so that it won't result in mutual discontent.

Young people's conduct is apt to bring about criticism, but it is desirable news that young Japanese value self-control, and are highly regarded by British people. They are expected to continue to regulate their conduct while keeping in mind that individual conduct abroad often leads to evaluation of Japanese as a whole.

Junko Kobayashi: Promoting Intercultural Understanding

(語注) reserved 遠慮がちな      open up 打ち明ける      reservedness 控え目  
regulate ～を律する

20 下線部(A)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 私はイギリスの人々にどうか日本人の長所を認めてほしいと願っているが、日本人学生の会話能力についてはまだ不安が残った。
- ② 学生が会話する能力についてはまだ疑惑を持っているが、イギリス人からの彼らのとりえの認知度が高いことは評価できる。
- ③ イギリス人がこれらの長所を認めていることについてはとても嬉しかったが、学生のコミュニケーション力についてはまだ疑問な点があった。
- ④ イギリスの人々はこれらのメリットの高評価に喜んでいたが、私はまだ学生のコミュニケーション能力について不信感を持っていた。

21 下線部(B)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 日本人留学生と共通の「控え目」という価値を持つイギリス人は、おそらく良い理解力を持っているので日本人留学生の心理状態もよく分かったのだろう。
- ② 日本人留学生と同様に「控え目」であることから、イギリス人はおそらく日本人留学生の心理状態をよく理解していたのだろう。
- ③ イギリス人は日本人留学生と共通して「控え目」であることに価値を見出すので、イギリス人はおそらく日本人留学生の心理に共感することができたのだろう。
- ④ 「控え目」という価値を日本人留学生と共通して持ちながら、日本人留学生と共に心理学をよく理解することは、おそらくイギリス人にとっては簡単だったのだろう。

22 本文の第2段落の内容に合わないものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 日本人は会話に深みがなく面白くない。
- ② 日本人は無分別なことを求めないから好きだ。
- ③ 日本人にとってはルールを守ることが当たり前なので、そのありがたみがわからない。
- ④ 日本人は初めは遠慮がちだが、そのうち会話を始めることができるようになる。

23 本文の第3段落の内容に合うものとしてもっとも適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① ヨーロッパに住んでいる人々の考え方はイギリス人に代表される。
- ② ヨーロッパの人々も優柔不断な人が多く困ることがある。
- ③ ホームステイ先で嫌いな食事が出たら、「私の好みには合わない」とやんわり伝えたり食べ残したりして相手にわかってもらうことが大切だ。
- ④ ホストファミリーと一緒に出掛けてつまらなそうにするなら、その場所には興味がないことを伝えた方がよい。

24 25 本文の内容と合っているものを、①～⑥の中から二つ選びなさい。(順不同)

- ① イギリス人夫妻はずっと日本からの留学生のみを受け入れている。
- ② イギリスでは日本人留学生が絶大な人気を誇る。
- ③ 日本人は英語があまり上手に話せない。
- ④ 理にかなった要求なら西洋人には言葉で伝えるべきだ。
- ⑤ 若者は非難されないように自制心を持って行動するべきだ。
- ⑥ 外国での日本人一人ひとりの行動が全日本人の評価につながるがよくある。

教養問題（現代文）

（五枚のうち1）

問題一

問一 次のa～eの文の空欄に入る最も適当な語を、後の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号はa 1、b 2、c 3、d 4、e 5。

- a 世間一般の騒々しさに加えて、個人的にも（ ）な一年であった。  
b（ ）の際には、この抜け穴から城外に逃げられるようになっていた。  
c 三日間（ ）不省に陥ったが、幸運にも後遺症もなく復帰できた。  
d 淨き世離れした父のせいで、母が（ ）万端を取り切らなければならなかった。  
e（ ）に疎い芸術家が、時代の変化を痛感して少しずつ変わってゆく様子が描かれている。
- ① 参事 ② 惨事 ③ 世事 ④ 多事 ⑤ 諸事  
⑥ 有事 ⑦ 無事 ⑧ 人事 ⑨ 私事 ⑩ 不祥事

問二 次のa～eの空欄には慣用句を構成する語が入る。それぞれ最も適当なものを、後の①～⑩の中から一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号はa 6、b 7、c 8、d 9、e 10。

- a さすがの社長も焼きが（ ）たようであつたらぬミスが多くなつた。  
b 昔からの仲間の活躍を耳にするたびに、腕が（ ）てしかたなかった。  
c 幼い頃から周りの人々に気を遣いながら生きてきたので、人並み（ ）た観察力が自然に身に付いた。  
d 純和風のにしつらえられた部屋に液晶テレビが（ ）て付けたように置かれていた。  
e 新内閣の内務大臣となった後藤新平が震災復興で大規模な都市計画を構想して辣腕を（ ）た。
- ① 回つ ② 鳴つ ③ 立つ ④ 入つ ⑤ 振るつ  
⑥ 取つ ⑦ 取れ ⑧ 切つ ⑨ 切れ ⑩ 外れ

問三 「（AさんがBさんに）知らせて来た」ということを、Cさんに言うとして、次のa～eの敬意を示す言い方はどうなるか。後の①～⑩の中からそれぞれ最も適当なものを一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号はa 11、b 12、c 13、d 14、e 15。

- a Aさんだけに敬意を示す言い方  
b Bさんだけに敬意を示す言い方  
c AさんとCさんに敬意を示す言い方  
d BさんとCさんに敬意を示す言い方  
e AさんとBさんに敬意を示す言い方
- ① 知らせて来ました。  
② 知らせて参りました。  
③ 知らせて参られた。  
④ 知らせて参りました。  
⑤ お知らせして参りました。  
⑥ 知らせて参られた。  
⑦ お知らせして来られた。  
⑧ 知らせていらつしやいました。  
⑨ お知らせ申し上げて来た。  
⑩ お知らせ申し上げて来ました。

推薦・教養問題（現代文）

（五枚のうち2）

問四 次の文中の空欄a～eに入る最も適当な語を、後の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号はa 16、b 17、c 18、d 19、e 20。なお、同一の記号の空欄には同一の語が入る。

京都市の2014年度包括外部（ a ）の結果が、このほど公表された。市内で発掘された（ b ）文化財を展示している市考古資料館（上京区）について「規模があまりにも小さい」などとし、早急に再整備を検討するよう求めている。

同資料館は旧西陣織物館を再利用して1979年11月に開館した。アクセスが悪いうえ建物古くて手狭という悪条件のなか、年間2万5千人前後の来館者があり、（ a ）結果も「（ c ）が多い環境下で精いっぱい展示・運営がされている」と評した。

その上で「京都市から出土する（ b ）文化財の歴史的意義や分量から見ると、規模があまりにも小さい」「歴史都市京都市に期待するファンを迎える施設としては負担が大きい」として、再整備の必要性を訴えている。

再整備にあつても、京都市の歴史を1カ所のみで味わえるよう市営施設に分散展示している考古資料を（ d ）に集めるほか、同種の施設である府京都文化博物館（中京区）や府立総合資料館（左京区）などとの合併・再編も視野に入れて検討することなどを要請した。

このほか（ a ）結果では、京都府観光連盟、市観光協会、京都文化交流コンベンションビュローの3団体について「京都の観光（ e ）を目的とする点は共通」とし、市が主導してノウハウの共有などの連携を進めるよう注文した。（『京都新聞』平成二十七年四月十六日の記事に拠る）

- ① 振興 ② 答申 ③ 一堂 ④ 制約 ⑤ 規則  
⑥ 立地 ⑦ 監査 ⑧ 遺産 ⑨ 埋蔵 ⑩ 集約

題二 次の文章を読み後ろの設問に答えよ。

どうすれば正当な、人間が奴隷にならない、自由にいられる社会を築けるのだろうか。そのための手段が、互いを対等の立場として受け入れ合う社会契約である。それは何か。

ルソールの構想する社会契約において、人々は一つの分割不能な共同体へと結合し、また彼らはすべての権利を共同体に渡して一つに束ねる。これが契約行為である。

各人が契約する相手は、神様でも王様でも他人でもなく「自分たち」、つまり自分を含む契約当事者たちが構成する共同体である。この共同体を人民という。また、束ねた権利のことを主権という。人民に主権は属するので、これを人民主権という。人間は多様だが、彼らが行う契約行為は完全に等しいゆえ、社会契約は人々のあいだで完全に平等である。ではこの共同体はいかにして運営されるのか。キーワードは一般意志である。

A ルソールの議論において、人民は一般意志の指揮のもとに置かれるとされる。だがこれは一般意志が人民の管理下に置かれるわけではなく、人民とは構成員たちからなる一つの分割不能な共同体であり、一人ひとりの構成員ではない。そして一般意志とは、個々の人間が自らの特殊性をいったん離れて意志を一般化したものだ。意志を一般化することは、自己利益の追求に何が必要かをひとまず脇に置いて、自分を含む多様な人間がともに必要とするものを探ろうとすることである。

それゆえ一般意志は人々を対等に扱い、人間に共通の必要を尊重し、平等性を志向する傾向を持つ。個人が特殊な「私」の次元から一般的な「公」の次元へと思考を移すという、熟議の理性の行使——それを一般意志と呼ぼう——を通じて自分たちで共同体を運営するのが、人民が一般意志の指揮のもとに置かれるということだ。

これを特に難しく捉える必要はない。自治には公私の区別が必要だということを、純粋化して表現したものだからだ。要するに、私的領域では自分のことだけを考えるのが許容されても、公的領域ではそうではないということだ。公私の領域に区別がないと、往々にして「公」の名のもとに「私」が踏みじられる。だからそれはあつたほうがない。

「熟議的理性」という言葉に一点注意しておく。英語だと熟議はdeliberation（仏語だとdebattre）だが、この語は熟慮をも意味する。だから英語のdeliberationを和訳するときは、熟慮なのか熟慮なのか、日本語の選定に注意せねばならない。熟慮だと振舞う人が会話しないとできないが、熟慮だと一人で黙つてできるので、日本語の印象はかなり異なる。では熟慮と熟慮を使い分けずに内包するdeliberationの本質は何かというと、思索を通じて考えを形成したり変えたりすること、その行為

の前後における変化である。

熟議的理性を行使するとは、理性に尋ねて考えを形成したり変えたりすることだ。そのような行為をわざわざするのが、私から公の次元へ思考を移すということである。なぜそのようなことをせねばならないのか、それは人間が多様だからだ。

人間が「様」ならば自分も他人も同じようなものなので、わざわざ熟議的理性を行使して、意志を一般化してまで、ともに必要とする社会基盤が何かを探る必要性は乏しい。自分がいて、他者がいて、それぞれ異なるから、各自がそのような面倒な行為をする必要があるのだ。それは自分を離れるというよりは、自分のなかに深く潜り、他者と人間としての共通点を見付け、それを尊重しようとする営みである。

理性が情動より高貴だとか上位だとか言っているわけではない。理性も公的領域もそこまでの高みを欲してはいない。単に公的領域においては理性の行使が要請されるのだ。意志を一般化するとその要請を引き受けること、<sup>c</sup> そのような主体としての自分を選び取ることだ。だからこの作業は言うなればアイデンティティの選択であり、自分を（d）するわけでも離脱するわけでもない。

しばしばなされる誤解だが、一般意志を全体主義的に捉えるのは大きな誤りである。むしろそれは多様な人間が共存する基盤、自由社会の枠組みを志向するものだからだ。一般意志は差別や偏見を許容しない。社会契約はその成り立ちから、法のもとの平等や一人一票の原則を含む、構成員間の政治的平等を重視する。これは政治的権力や政治的権威に構成員間で大きな偏りがある、全体主義的体制ではありえないことだ。

人々は社会契約により、所有権の保護や人格の尊重、そして自由の創設などを獲得する。これは「互いの認め合い」であり、それにより人々の暮らしは以前よりよきものとなる。そのために契約しようとする人間の心理の基盤は何かというと、利己心である。だが利己心といっても一通りではない。節度のあるなしで利己心の現れ方は大きく異なってくる。

社会契約をなすためには、自分のみならず他者をも尊重するという節度の心理が不可欠である。それは利他心というより、節度のある利己心である。<sup>e</sup>「自分だけを尊重しろ」や「自分だけは優遇しろ」という節度なき利己心が暴れると、契約には至れない。

ではこの節度ある利己心の、根っここの感情とはどのようなものか。それは「他者との関わりのおかげで、自分は軽く扱われたくない」という尊敬の感情である。この感情が暴走しないので「他者が自分を尊重するなら、自分も同様に他者を尊重しよう」という抑制の効いた心理が生まれたとき、社会契約が可能となる。

**B** 社会契約において人々は、皆が持つ権利を一つに束ねあげる。そうしてできた強大な権利を主権と呼ぶのであった。では主権は何をするのか。

主権の役割は、一般意志に基づき、共同体内での取り決めを定めることである。これはつまり自分たちを治める規則、法を定めるということだ。すなわち主権とは立法権である。そうして生まれた法が治める社会で、共同体の構成員たちは生きることになる。法は一般意志の具体化であり、「一般意志の性質上」、それは構成員の全員から由来し、全員に等しく適用される。

では一般意志はどこにあるのか。まずは確認だが、ルソーの議論において「人民」とは社会契約により生まれた一つの分割不能な共同体を指すのであった。つまり人民とは、生き物である人間ではなく、概念として作られた集合体だ。よって、それ自体で精神、意志を持つ主体ではない。「人民が一般意志を持つ」といった言い方は厳密には正しくない。

一般意志はあくまで個々の人間が、自らの精神のなかに見付けていくものだ。法の制定とはそのような行為であり、ある法案が一般意志に合うか否かを調べるためには、構成員全員が参加する集会で、各自が辿り着いた判断を投票で表明して、多数決で判定する。

もう少し詳しく述べよう。投票に際して個々の構成員は、法案が一般意志に合うか否かへの自らの判断を、熟議的理性を行使したうえで表明する。そうした多数決により法案の一般意志への適否を判定するわけだ。よって自分の判断と多数決の結果が異なっている、それは自分の判断が間違っていたということになる。自分の意に沿わない結果が出たということではない。自分是一般意志の判断を見付け損ねていたのだ。

よってそうして定められた法に従うことは、多数派の意志に服従することではない。それは多数派が見付けた一般意志の判断に従うことなのだ。そして一般意志は自らの意志であるゆえ、それが定める法に従うことは、自ら定めた法に従うことを意味する。

以上が、ルソーの展開した、<sup>f</sup> 少数派が多数決の結果に従う正当性の根拠である。

（坂井豊貴「多数決を疑う」に拠る。）

問一 傍線部aに「誰かや何かの管理下に置かれるわけではない」とあるが、ではどうであると筆者は言っているか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は **21**。

- ① 自分を含む契約当事者たちが構成する共同体が、自らの持つ一般意志の定める法に従う。
- ② 人民が個人の意志の集合体である一般意志の管理下に置かれる。
- ③ 各個人が、熟議的理性の行使により意志を一般化して判断、投票し、多数決で法律を制定して、自分たちで運営する。
- ④ 個人が節度ある利己心により社会契約をして、契約条件である一般意志に基づいて自分たちで運営する。
- ⑤ 社会契約により獲得した自由により、節度ある利己心を保つ限り、各個人は何ものにも縛られない。

問二 傍線部bの「意志の一般化」と同じものを表さない表現を、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は **22**。

- ① 自分を含む多様な人間がともに必要とするものは何かを探ろうとすること
- ② 個人が特殊な「私」の次元から「公」の次元へと思考を移すという、熟議的理性の行使
- ③ 私的領域では自分のことだけを考えるのが許容されても、公的領域ではそうではないということ
- ④ 私から公の次元へ思考を移すということ
- ⑤ 自分のなかに深く潜り、他者と人間としての共通点を見付け、それを尊重しようとする営み

問三 傍線部cの「そのような主体」とはどういう主体か。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は **23**。

- ① 私的領域の自分を捨てて公的領域の自分を選び取る主体
- ② 理性の行使が要請される公的領域を選び取る主体
- ③ 公的領域における理性の行使を要請する主体
- ④ 公的領域において理性の行使が要請される主体
- ⑤ 公的領域において理性を行使する主体

問四 文中の空欄dに入る語として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は **24**。

- ① 保護
- ② 獲得
- ③ 維持
- ④ 放棄
- ⑤ 尊重

問五 傍線部eに「自分だけを尊重しろ」や「自分だけは優遇しろ」という節度なき利己心が暴れると、契約には至れない」とあるが、それはどうしてか。その理由として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は **25**。

- ① 社会契約は互いを対等の立場として受け入れ合うものだから
- ② 一般意志は多様な人間が共存する基盤、自由社会の枠組みを志向するものだから
- ③ 契約しようとする人間の心理の基盤そのものが崩壊してしまうから
- ④ 社会契約においては、皆が持つ権利を一つに束ねあげるから
- ⑤ 社会契約においては、構成員全員が参加する集会で、各自が辿り着いた判断を投票で表明して、多数決で判定するから

問六 傍線部イに「一般意志の性質上」とあるが、ここで筆者が想起しているのは、一般意志の中の特にどのような性質だと考えられるか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 26。

- ① 人々を対等に扱い、人間に共通の必要を尊重し、平等性を志向するものだという性質
- ② 自分を含む多様な人間が共に必要とするものは何かと考えて、各人が自らの精神の中に見付けていくものだという性質
- ③ 自分のみならず他者をも尊重するという節度の心理が不可欠な利己心が基盤になつていくという性質
- ④ 人民が持つものであり、人民を指揮のもとに置くものでもあるという性質
- ⑤ 個々の構成員が、自分のなかに深く潜り、自らの精神のなかに見付けていくものだという性質

問七 傍線部ロの「少数派が多数決の結果に従う正当性の根拠」を、ルソーの考えについての筆者の説明に従って簡潔に言うようにする。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 27。

- ① 人間が自由にいられる社会を築くためには、分割不能な共同体へと結合し、すべての権利を一つに束ねる社会契約が必要で、その共同体を運営するためその権利が定める法には、構成員全員が従わねばならないこと
- ② 社会契約による共同体では多様な人間が共存する基盤を志向して、一人一票の原則に基づいて多数決で法律が制定されるので、少数派になっても自らの意思を表明する権利の行使は行われていること
- ③ 私的領域では自分のことだけを考えるのが許容されても、社会契約による共同体の公的領域ではそうではないので、多数決の結果という一般意志には、少数派の個人の意向は無視されること
- ④ 熟議的理性を行使した法案の一般意志への適否の判定において、少数派になるということは間違つたということに過ぎず、多数決により定められた法に従うのは、自分の定めた法に従うことであること
- ⑤ 熟議的理性を行使した法案の一般意志への適否の判定においては、法案内容の正否ではなく、それにより利益を得る構成員の多い少ないが問題であり、当然多い方が一般意志となること

問八 文中の空欄Aに、次行から空欄Bの直前までの大きな段落の内容にふさわしい小見出しを入れたい。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 28。

- ① 一般意志
- ② 一般意志の性質
- ③ 一般意志の所在
- ④ 一般意志と利己心
- ⑤ 一般意志と社会契約

問九 文中の空欄Bに、次行から最後一文までの大きな段落の内容を端的に表す小見出しを入れたい。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 29。

- ① 主権とは
- ② 主権の役割
- ③ 立法権とは
- ④ 一般意志の所在
- ⑤ 多数決の意味

## 英 語

(三枚のうち1)

I 次の対話文の空欄〔1〕～〔3〕に入れるのにもっとも適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

A: Jessie, I can't believe you've been here for five months already.  
 B: I know. (〔1〕)  
 A: Yeah. Is there any place you'd like to visit before you go home to Germany?  
 B: Let me think... I've been to most of the famous sites here in Kyoto.  
 A: That's right. Let's see... (〔2〕) You can see mountain leaves turning red in the fall.  
 B: Oh, that sounds great! When would be good to go?  
 A: I'm sure there will be many tourists in the fall, so we should definitely go during the weekdays.  
 B: Okay. We don't need to do sightseeing there. I've done that already.  
 A: Yeah, we can just take a nice walk.  
 B: Oh, (〔3〕).

- 〔1〕 ① I did actually come here last month.  
 ② It seems like I just came to Japan last month or so.  
 ③ Did I come to Japan last month?  
 ④ When did I come to Japan?
- 〔2〕 ① Have you been to Arashiyama before?  
 ② Have you heard of Arashiyama before?  
 ③ What do you know about Arashiyama?  
 ④ How about visiting Arashiyama again?
- 〔3〕 ① I'd love to visit some temples there  
 ② it's beautiful  
 ③ I can't wait  
 ④ the leaves are red

II 次の〔4〕～〔13〕の空欄に入れるのにもっとも適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- 〔4〕 ( )! I'm going to tell you something important now.  
 ① Listen ② Face ③ See ④ Hear
- 〔5〕 She wasn't feeling well, so she had to ( ) his invitation.  
 ① make out ② get rid of ③ turn down ④ work out
- 〔6〕 I prefer seeing my friends ( ) chatting with them online.  
 ① better ② rather ③ to ④ than
- 〔7〕 My father almost had his wallet ( ) while traveling.  
 ① steal ② stealing ③ stolen ④ been stolen
- 〔8〕 "I won't be able to attend tomorrow." "( )"  
 ① So do I. ② Neither won't I. ③ Me too. ④ Me either.
- 〔9〕 It was ( ) great movie that we saw it twice.  
 ① so a ② such a ③ very ④ really
- 〔10〕 My friend's getting married ( ) ten days.  
 ① for ② in ③ on ④ while
- 〔11〕 I don't know ( ) or not he is alive.  
 ① that ② if ③ weather ④ whether
- 〔12〕 My boss can speak Spanish and Russian, ( ) English.  
 ① not to mention ② needless to say  
 ③ to tell the truth ④ to say the least
- 〔13〕 "She is a good dancer, isn't she?" "Yes, she really is. I wish I ( ) like her."  
 ① dance ② can dance ③ will dance ④ could dance

## 英 語

(三枚のうち2)

III 次の〔A〕～〔C〕の日本語に合うように、それぞれ①～⑥の語句を用いて英文を完成させた時、空欄〔14〕～〔19〕にあてはまる語句を選びなさい。

- 〔A〕 男の子は靴を履いたまま椅子の上に立っています。  
 The boy is standing on ( ) (〔14〕) ( ) ( ) (〔15〕) ( ).  
 ① on ② with ③ the  
 ④ chair ⑤ his ⑥ shoes
- 〔B〕 ここから地下鉄の駅までの行き方を教えてください。  
 Can you tell me ( ) (〔16〕) ( ) ( ) (〔17〕) ( ) subway station from here?  
 ① I ② how ③ the  
 ④ get ⑤ can ⑥ to
- 〔C〕 彼女にはよくあることだが、彼女は学校に5分遅刻した。  
 ( ) (〔18〕) ( ) ( ) (〔19〕) ( ) her, she was five minutes late for school.  
 ① the ② with ③ case  
 ④ often ⑤ as ⑥ is

IV 次の英文を読んで、設問に答えなさい。

## Our Food Choices

When we feel hungry, it is our body's way of telling us that we need more energy and nutrients. When our stomach is empty, it becomes smaller and the nerves in the stomach send a message to the brain telling it that we need food. But sometimes we eat when we're not hungry. For example, we sometimes want to eat dessert even when we are full from dinner. This is appetite rather than hunger. We get an appetite for different reasons. Sometimes we want to eat for emotional reasons – because we are stressed, lonely, or bored. There are other times, however, when emotions have the opposite effect: we want to eat less or even skip meals because we are sad or depressed.

To lose weight, we have to understand the difference between appetite and hunger and think about how to reduce our appetite. (A) We can then take simple steps to help us avoid tempting foods, such as not keeping a lot of sweets and snacks at home.

## The Foods We Choose

The type of foods we choose and the amounts we eat vary for different reasons. Our mood, health issues, concerns about costs, personal food preferences, social situations, and cultures all influence our food choices and eating habits. Culture has a large effect on our diets. Diets of some cultures, like the traditional Japanese culture, are healthier than the diets of other cultures. But culture is always changing, and that includes food culture. Our parents also have a huge influence on our diets: (B) they are usually the ones who plan and prepare our food when we are growing up and their influence often lasts throughout our lives. Our friends influence our food choices, too. They may get you to go to an ice cream shop or eat popcorn at a movie theater, even though you don't want to or know it is not a healthy choice.

## Advertising and Marketing

The advertisements we see in the media also affect our thinking about food. In America, the food industry spends over seven billion dollars a year on advertising. Most of this money is spent on ads for processed food rather than on ads for natural, healthier foods since food sellers make more money from processed food. Marketers also encourage us to consume larger portions. At many fast-food restaurants, the sizes of hamburgers and soft drinks are becoming larger and larger.

Children spend a lot of time watching TV, and many of the advertisements they watch encourage them to eat unhealthy snacks, sweets, breakfast cereals, and meals. Sometimes fast-food restaurants advertise special children's meals that come with toys or games. These

food advertisements and marketing tricks can be so powerful that children become upset if their parents do not buy the advertised food products for them. We all should consider how food advertising and marketing affect our food choices and increase our health risks.

Vincent et al.; *Simply Nutrition*

(語注) nutrient 栄養素    nerve 神経    appetite 食欲    tempting 気持ちをそそられる  
diet (日常の) 飲食物    ads=advertisements    processed food 加工食品  
portions 一人前、一人分    upset 怒る

20 下線部(A)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① それなら、簡単な手段を取ることによって気持ちがそそられる食べ物を避けることができる。それは家に甘い物や菓子を多く置いておかまいということだ。
- ② それから、家に甘い物や菓子を多く置いておかまいというような、気持ちをそそられる食べ物を避ける手助けをするための単純な一歩を踏み出すことができる。
- ③ 気持ちをそそるような食べ物を避けるために、家に多くのスイーツや菓子を置かなくなった時やっと一歩を踏み出せる。
- ④ 気持ちそそるような食べ物を避けるように一歩を踏み出した時、家にスイーツや菓子を多く置かなくなる。

21 下線部(B)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① たいてい彼らのうちの一人が食事を決めて提供してくれ、私たちが成長している時、一生を通して最後に残るのは彼らの影響である。
- ② 彼らはたいてい私たちが成長している時に食事を決め用意してくれる人々で、彼らの影響はしばしば私たちの生活に残る。
- ③ 私たちの成長時に食べ物を計画・準備するのはたいてい彼らのみで、私たちの命が尽きるまでそれらに影響される。
- ④ 彼らはたいてい計画を立てる人で、食事を提供してくれる人でもあり、成長している時に彼らの決定は私たちの生活に最後まで影響する。

22 本文の第1段落の内容に合わないものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 体がエネルギーを必要としている時にお腹がすく。
- ② 食べ物が必要という信号はお腹から発信される。
- ③ 見た目や匂いから食欲が増すこともある。
- ④ 感情的になると食欲が増すこともある。

23 本文の第4、第5段落の内容に合うものとしてもっとも適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 加工食品より生鮮品の方がよく売れる。
- ② アメリカの1人前はどこの国よりも大きい。
- ③ 子どもが目にするテレビ広告は不健康な物を多く宣伝している。
- ④ 親は子どもが怒るからと言って、欲しがる物を買いはやめるべきではない。

24 25 本文の内容と合っているものを、①～⑥の中から二つ選びなさい。(順不同)

- ① 空腹感と食欲に耐えると痩せることができる。
- ② 何をどのくらい食べるかは、その人の社会的境遇によっても変わる。
- ③ 友人の影響で高カロリーの食品を食べるのは良くない。
- ④ アメリカでは食料品の広告代に年間700万ドルが費やされる。
- ⑤ 客により多く消費してもらうために、一人前を大きくしているところもある。
- ⑥ 健康志向の影響で日本食は人気がある。

教養問題（現代文）

（五枚のうち1）

（五枚のうち2）

問題一

問一 次のa～eの文の空欄に入る最も適当な語を、後の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a ① 1, b ② 2, c ③ 3, d ④ 4, e ⑤ 5。

- a いろいろなことが思い出されて（ ）胸にせまり、とうとう人目もはばからず泣き出してしまった。  
b 何より圧倒的な（ ）に溢れたベートーヴェンの交響曲が彼のお気に入りだった。  
c 内装の（ ）も大幅に向上して、高級車然としていた。  
d （ ）を買うことを承知で言わせていただくと、私は少女の頃からいつも男性に夢見てきました。  
e これらの和歌は「をりにふれてよめる」という単なる（ ）に過ぎないのである。

- ① 触感 ② 実感 ③ 好感 ④ 質感 ⑤ 反感  
⑥ 共感 ⑦ 力感 ⑧ 万感 ⑨ 偶感 ⑩ 第六感

問二 次のa～eの空欄には慣用句を構成する語がある。それぞれ最も適当なものを、後の①～⑩の中から一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a ① 6, b ② 7, c ③ 8, d ④ 9, e ⑤ 10。

- a 堅苦しい会合で皆が面倒がる中で、彼女一人だけは水を（ ）た魚のように生き生きと来客と談笑していた。  
b 夢物語ばかりしていないで少しは地に足が（ ）た将来設計をしない。  
c 東海道新幹線のホームが八重洲口側に設置され、それまで裏口でしかなかった八重洲口は面目を（ ）た。  
d 息子が相当腕を上げてきたが、まだ将棋では不覚を（ ）たことはない。  
e リーマンショック前まで我が世の春を（ ）た米国の証券会社は、今足元を見つめ直しているようです。

- ① 保持し ② 謳歌し ③ 喫し ④ 着 ⑤ 付い  
⑥ 一新し ⑦ 躍動し ⑧ 取っ ⑨ 得 ⑩ 保つ

問三 「AさんがBさんに」見せてやってくれた」ということを、Cさんに言うとして、次のa～eの敬意を示す言い方はどうなるか。後の①～⑩の中からそれぞれ最も適当なものを一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a ① 12, c ③ 13, d ④ 14, e ⑤ 15。

- a Aさんだけに敬意を示す言い方  
b Bさんだけに敬意を示す言い方  
c AさんとCさんに敬意を示す言い方  
d BさんとCさんに敬意を示す言い方  
e AさんとBさんに敬意を示す言い方

- ① 見せてやってくれました。  
② 見せてやってくれさした。  
③ 見せてやってくれさした。  
④ 見せてさしあげてくれました。  
⑤ 見せてさしあげてくれました。  
⑥ 見せてさしあげてくれました。  
⑦ 見せてさしあげてくれました。  
⑧ 見せてさしあげてくれました。  
⑨ 見せてやっていた。  
⑩ 見せてやっていた。

問四 次の文中の空欄a～eに入る最も適当な語を、後の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a ① 16, b ② 17, c ③ 18, d ④ 19, e ⑤ 20。なお、同一の記号の空欄には同一の語が入る。

京都三大祭の一つ、葵祭が15日行われた。祭りのシンボル・フタバアオイを頭や胸に飾った女官や武官約5100人が（a）の都大路を練り歩き、沿道を埋めた観光客が華麗な平安（b）に見入った。

（c）豊後を折る下鴨神社（京都市左京区）と上賀茂神社（同市北区）の例祭で、行列は午前10時半、京都御所（同市上京区）を出発。第60代嵯峨王代の航空会社客室乗務員（26）は「小学校の通学路だった下鴨神社の緑の森を、十二単を着て通るのが楽しみ」と腰裏に乗った。

長野市の善光寺で行事中に小型無人機「ドローン」が落下したことを受け、下鴨神社は（d）での飛行を禁止し、上賀茂神社は（e）許可制にした。沿道での落下などに備え、京都府警も警戒にあたった。（読売新聞）平成二十七年五月十五日の記事に拠る。

- ① 構内 ② 絵巻 ③ 雑踏 ④ 境内 ⑤ 新緑  
⑥ 事前 ⑦ 意匠 ⑧ 五穀 ⑨ 先例 ⑩ 秋波

問題二 次の文章を読み後ろの設問に答えよ。

それでは、先進国における女性の労働力参加の変動についてはどのような説明がなされているのだろうか。

女性の労働力参加にかぎらず、「社会（国）のすがた」の変化を理解するときには「社会構造」と「社会制度」という概念を区別しておくことが重要だ。「構造と制度」といって難しく聞かせるが、これは社会学などの学術用語ではなく、私たちが日々新聞などで触れる言葉である。「社会構造」とは、たとえば人口構造や産業構造である。他方、「社会制度」とは、たとえば雇用制度や家族支援制度である。「人口構造」という言葉はよく目にするだろう。たとえば高齢者の比率が高いことは、日本の人口構造の特徴の一つである。しかし私は、人口構造、という言い方はしっくりこない。なぜだろうか。

制度とは、たいていの場合、人々が法律などを通じて公式に、あるいは慣習などの非公式な取り決めを通じて共有される規則を指す。しかし、日本には人口を直接操作するような「制度」は存在しない。子どもを全くもうけなくとも、一〇人つくるのも、その選択によってその人の人生は大きな影響を受けるだろうが、（ ）a（ ）（人口制度）という言葉をウェブ検索すると中国のページがたくさん出てくるが、中国には「一人っ子政策」という目標に掲げるところはありうるが、その場合でも個人の自由を確保したうえで、児童手当などのインセンティブを与えるかたちをとる。なお、政府が制度を創設する際の方針は、「政策」と呼ばれる。

一方の構造とは、制度、あるいはその策定方針である政策によって介入される「状態」を指す。経済構造要因（たとえばグローバル化）によって失業が深刻になれば、雇用制度を改革する政策によって、雇用状況を改善することが目指される。人口構造が高度に高齢化すれば、家族支援制度によってそれに対応しようとする。

ある社会変化は、まさにその変化を引き起こすべくつくられた制度によって、意図どおりにもたらされることもあるだろう。日本の介護保険制度は、人口高齢化や核家族化といった日本社会の構造変化に対応すべく、家族の介護負担を減らすためにつくられた。そして、いくつかの問題を含みながらも、当初の目的をおおむね達成したという評価が多い。

これに対して、制度が意図せざる結果をもたらすこともある。たとえば（これは多分に非公式な制度だが）アジアの家長制的・性差別的な慣習が、めざましい経済発展の重要な契機だった、と指摘する研究もある。そうした慣習ゆえに、軽工業に安価な女性労働力を投入でき、企業が余力をもつて技術開発に投資できたことが、台湾などアジア諸国の企業の輸出競争力を高めた、というのである。

他方で社会変化は「構造主導」で引き起こされることもある。たとえば高学歴化（多くの人々が義務教育を終えたあとでも高等教育まで教育期間を継続すること）は、一般に、経済が農業から工業、そしてサービス業に移行し、高い技能を備えた労働力が必要とされるようになるという構造変動に対応して生じる変化である（東アジア諸国のように政府の方針で進められることもある）。

ここで留意すべき点は、制度・政策が社会を変えようとする意図でつくられることが多いのに対して、構造は気づいたらそうなっていたというように、自然発生的な状態である、ということだ。日本人や日本政府は、明確な意図をもって日本の人口構造を高齢化させようとしたわけではない。そんな人はたぶん一人もいないだろう。その時々によかれと考えて行動してきた結果、

気がつけば高齢化が世界一進んでいたのである。また、近代化以前の社会では、格差はまさに制度（身分制度）であったが、現在では格差（資源の不均等配分構造）は基本的に意図せざる結果である。公費援助が少ない日本の教育制度など、格差維持につながる様々な制度はあるにせよ、それらは（c）ようなものではない。

また、近代社会において多大なインパクトを持つ「意図せざる結果」といえば、誰もが経済不況を思い浮かべるであろう。不況は、私たちの国が市場経済という需給調整制度を採用していることの副作用として生じる。第3章で見たように、女性の雇用も経済の好況・不況に大きく左右される。ただ、同じく意図せざる結果であるとはいえ、産業構造や人口構造と同じレベルで経済不況を「構造」とみなすことには無理があるだろう。産業構造や人口構造がたいい。一定方向に不可逆的に変化するのに対して、経済の好況・不況は循環的に発生することが多いからだ。本書では主に産業化や人口構造の変化のインパクトについて言及し、経済の好況・不況の影響については必要に応じて触れるにとどめる。

以上の社会変化についての枠組みを女性の労働力参加にあてはめるとどうなるだろうか。

一般的に、女性の労働力参加は制度主導で進められてきた社会変化の典型と考えられがちだ。戦後、ほとんどの先進国で女性の多くが専業主婦となるが、その状態を「女性抑圧」だと感じた人々が「男女平等」の理念のもと、女性も男性と同じように働ける環境を整備することを要求しはじめた。それに対応して雇用差別や賃金差別が法制度によって禁じられてきた結果、今や欧米諸国の一部では女性が男性と肩を並べて仕事をすることになった——このように見方がしばしばなる。

しかし、こうした考え方は、実際にはせいぜい一部しか正しくない。つまり、女性の労働力参加は、それを目的につくられた様々な制度（雇用機会均等法や両立支援制度など）があつてもたらされたわけではなく、むしろ構造的要因によって引き起こされた、というのが専門家の共通理解なのである。

女性の労働力参加を説明する理論のなかでも、専門家に最も広く受け入れられているのが「U字型仮説」である。この仮説は、国が経済的に発展するにつれて「女性の労働力参加はいつたんだが、その後再び回復する」という長期変動を予測するものだ。これは日本でも見られた動きで、農業や自営業が国の経済の中心であった時期には、女性は「子育てや家事と仕事を両立しやすい」ため、活発に労働力参加していたが、第二次産業、特に重化学工業、鉱業、建設業が経済の中心になると主婦化し、その後サービス産業化にもなると市場労働に参画していく、という見方である。

アメリカ、スウェーデン、フランスなど早い段階で工業化を経験した国では、比較的信頼できるデータがそろえるようになる。20世紀半ばより前にU字型の底がきている。これに対して日本のはかフィンランド、イタリアでは一九七〇年前後になって女性の労働力参加が底を打ち、そこから再び上昇している。これらの国では、古い経済セクター（農業、自営業）と新しい経済セクターが逆転するタイミングが他の欧米諸国に比べて遅かったのである。

いずれにしても、先進国はいずれ工業化に続くポスト工業化の段階に突入して、工場や建築などのマニュアル労働に比べてオフィスワークや対人サービスの比率が高まり、女性が市場労働において活躍するようになる。これがおおまかなU字型の説明である。そしてこの理論枠組みでは、制度の要素は登場しない。「男女平等を実現すべく制定された制度のおかげで、女性が賃労働に参画するようになったのだ」というよりは、産業構造の変化が女性をいったんは非労働力化し、その後再び労働力化したのだ、という説明なのである。

構造の変化が女性の労働力参加を引き起こしたとする理論には、他にも有力なバリエーションがある。その代表が人口変動による説明である。この理論はさらに二つに分かれる。一つは少子化要因の説明で、もう一つは高齢化要因によるものである。

少子化と女性の労働力参加の関係については前章で詳しく検討したが、もう一度確認しておこう。子どもが五人も六人もいる場合、いくら両立支援がしっかりしていても、女性が自宅から離れた職場で賃労働をすることはまず無理だろう。これが二人以下になってきたことが、女性が「外」で男性とともに働くことの前提となった。そしてこの人口転換における少子化（この場合は、出生率が人口置換水準まで下がること）は、「少なく産んで大事に育てる」という価値観や教育年数・コストの増大の帰結であるから、両立困難によって引き起こされたわけではない。事実、日本の一九七〇年前後にあつた「子ども二人時代」において、（c）のような理由などからなる少子化が進展するのは、その後の段階である。

もう一つの人口要因は高齢化である。高齢化により長期的なケアを必要とする人々が増え、それが介護労働の需要を高める。そして大量の女性を賃労働に引きこんでいく。たいていの社会では、介護労働は（看護職と同じく）典型的な「女性職」である。すでに第1章で見てきたように、スウェーデンの女性労働者の多くは地方政府に雇用されたケアワーカーだ。

出生力の低下は労働供給（働き手）側の要因であるが、人口高齢化は労働需要（雇用主）側の要因である。旺盛な労働需要が女性の労働力参加を引き起こしたという例は多い。スウェーデンといえば、女性の労働力参加が戦後の早い時期から活発だった国であるが、その最大の要因は、スウェーデンが第二次世界大戦で被害を被らなかったことにある。スウェーデンは他のヨーロッパ諸国の復興需要を引き受けることで経済を急拡大させ、そのなかで極端な労働力不足を経験する。スウェーデンは他のヨーロッパ諸国と異なる。しかし一九六〇年代までのスウェーデンでは、女性が働きやすい環境はあまり整備されておらず、そのせいで出生率が急低下し、また「家庭の危機」が一九七〇年まで続く自殺率の上昇（この時期のスウェーデンの自殺率は日本をゆう

に上回っていた）を生み出したといわれる。この意味で、スウェーデンについては少子化が女性の労働力参加を引き起こしたという説明はあてはまりにくいかもしれない。

他方で、東南アジアや一部の東アジア諸国では、農業中心の経済から工業、サービス業を中心とした経済に変化するなかで、女性が（欧米や日本ほど）主婦化しなかった。これは、工業化・脱工業化の到来が極めて急速であつたために、多くの女性が農業や家業に従事する段階からそれほどあいたを空けずに軽工業（繊維や精密機器製造）やオフィスワークの労働需要に引きこまれたからである。アジア諸国では子育てにおいて親類ネットワークを利用しやすく、また家長制的な文化の強い地域では女性の賃金が安く抑えられ、それが国の輸出製品の価格を引き下げ、経済成長をもたらした、という研究もある。

もちろん、労働需要があれば必ず女性の労働力参加が増える、というわけではない。アメリカの工業化においては、移民の労働力の存在が欠かえなかった。つまり工業化による労働需要の多くを海外からの移民によって満たしていたのである。これに対して日本の高度経済成長期では、戦後のベビーブームによって農村部に男性の余剰労働力（典型的には次男以下）があり、これが当時の高い労働需要を満たしていた。二〇二一年になって、東日本大震災後の復興需要や公共投資の増加などの影響で労働力不足が生じ、第二次安倍内閣のときによりやく、女性のみならず移民の労働力を活用するための制度改革が本格的に検討されるようになった。

さて、産業構造の変化（サービス労働化）、人口構造の変化（少子高齢化）、そして労働需要など女性の労働力参加を促してきた要因は、いずれも構造的な要因であり、制度要因ではない。そして構造要因による変化はあくまで「意図せざる結果」である。女性の労働力参加を高めるためにサービス産業を拡大させる国はおそらくないだろう。ましてや女性の雇用を促すために高齢化を進める国などあるはずがない。先進経済国で女性が勝つてきた様々な両立支援制度や働くことに関する権利・条件の整備は、こういった構造変動と絡み合いながら進んできたことと見ることができ。つまり、制度の整備によって女性の労働力参加が促された側面もあるだろうが、それ以上に、構造変動によって女性の労働力参加が進んだ結果、それに対応すべく制度の整備が進められてきた側面が強いのだ。

（筒井淳也「仕事と家族」に拠る。なお、出題の都合で論文の注記は省略した。）

問一 文中の空欄aに入る表現として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は21。

- ① 大きな影響はない  
② 幸福が保証されるものではない  
③ 不幸になるとは限らない  
④ 法律による罰則はない  
⑤ 全体的には増減は一定している

問二 傍線部bの「インセンティブを与える」とはどういう意味か。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は22。

- ① 目標の方向に誘うような刺激を与える  
② 間接的に縛る制度を整える  
③ 状況や必要度の説明をして理解を高める  
④ 主として金銭的な面から援助する  
⑤ 付加価値が生まれる方向に導く

問三 文中の空欄cに入る表現として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は23。

- ① 人々を抑圧から解放する  
② 格差は正を意図した  
③ その目標を達成できる  
④ 直接的に身分を固定させる  
⑤ 間接的に身分を固定させる

問四 傍線部dの「一定方向に不可逆的に変化する」とはどういう意味か。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は24。

- ① 種々様々な方向に千変万化する  
② 右肩上がりの変化が一時的に下がることもなく続く  
③ ある方向に変化するとは必ず逆の方向への変化が続く  
④ 変化が一つの方向に向かうことなく続く  
⑤ 一度大きく変わるとしばらくその状態が続く

## 問五

傍線部eの「以上の社会変化についての枠組み」の具体的内容を簡潔にまとめることになるか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 25。

- ① 社会変化には、制度によって意図的にもたらされるものもあるし、制度の意図せざる結果としてもたらされるものもあり、更には、社会構造の変動に対応して自然発生的に生じるものもあるという枠組み
- ② 社会変化は、制度や政策によってくろみどおりに生じたり、構造に主導されてくろみを超えて意図せざる結果としてもたらされたりするという枠組み
- ③ 社会変化には、社会制度によるものと社会構造によるものがあり、更に両者は意図どおりか否かによって二つに分けられるという枠組み
- ④ 社会変化は意図せざる結果としてもたらされるものであり、その要因には、制度や政策によるもの、社会構造に対応したものの、循環的に発生する経済の好況・不況に起因するものがあるという枠組み
- ⑤ 意図せざる結果である社会変化をもちらす構造として、循環的に発生する経済の好況・不況は、産業構造や人口構造と同列には取り扱えないという枠組み

## 問六

傍線部fに「女性の労働力参加はいったん下がり」とあるが、そのような事情を筆者はどのように説明しているか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 26。

- ① 産業構造がサービス業が大きなウエイトを占めるものに変ったから
- ② 出生率が人口置換水準まで下がる少子化が進んだから
- ③ 古い経済セクターと新しい経済セクターが逆転するタイミングが遅かったから
- ④ 工業化・脱工業化の到来が極めて急速であったから
- ⑤ 国の経済の中心が、農業や自営業から第二産業に移ったから

## 問七

文中の空欄gに入る表現として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 27。

- ① 多くの女性は農家や自営業者の妻だった
- ② 多くの女性は専業主婦だった
- ③ 人口は減少していなかった
- ④ 両立支援はまだ十分機能していた
- ⑤ 両立支援はまだ整っていなかった

## 問八

傍線部hの「この意味で」とは、どういう意味でか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 28。

- ① 旺盛な労働需要が女性の労働力参加を引き起こしたという意味で
- ② 第二次世界大戦で被害を被らなかったことが最大の要因であるという意味で
- ③ 女性の労働力参加が急激な出生率低下と「家庭の危機」を招いたという意味で
- ④ 女性の労働力参加の後に出生率が急低下したという意味で
- ⑤ 女性が働きやすい環境はあまり整備されていなかったという意味で

## 問九

傍線部iに「労働需要があれば必ず女性の労働力参加が増える、というわけではない」とあるが、その理由を簡潔に言うことになるか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 29。

- ① 働ける環境が整っていない場合もあるため
- ② 少子化が進んでいない場合もあるため
- ③ 未就業だった男性が需要を満たすこともあるため
- ④ 構造的な要因であり、制度要因ではないため
- ⑤ 構造的な要因ではなく、制度要因であるため

## 英 語

(三枚のうち1)

I 次の対話文の空欄 ( 1 ) ~ ( 3 ) に入れるのにもっとも適当なものを、①~④の中から一つ選びなさい。

A: Wow! The year 2015 is ( 1 ).  
 B: Yeah. Time flies!  
 A: I know. Are you doing anything during the New Year vacation?  
 B: ( 2 ), but I'm sure I'm going to see my relatives.  
 A: Yeah. This is the only time I see my relatives. Do you still get new year's money?  
 B: Actually, I do. Do you?  
 A: No, sadly not. My parents said I earn enough money.  
 B: Really! My parents told me that ( 3 ).  
 A: That's so nice! I envy you.  
 B: Well, I hope you'll have a great vacation and I'll see you in January.

- 1 ① finished  
 ② almost over  
 ③ coming  
 ④ end
- 2 ① I'm doing nothing  
 ② I'm going to do something  
 ③ I'm planning to do something  
 ④ I don't really have anything planned
- 3 ① I should work hard too  
 ② I should give new year's money to my niece  
 ③ they would give me new year's money until I turn 20  
 ④ I would have enough money by the time I become 20

II 次の 4 ~ 13 の空欄に入れるのにもっとも適当なものを、①~④の中から一つ選びなさい。

- 4 My friend ( ) karate for the past twenty years.  
 ① practices ② practiced ③ is practicing ④ has been practicing
- 5 You should go to karaoke ( ) your stay in Japan.  
 ① between ② during ③ while ④ for
- 6 I'll be extremely ( ) to see my family over the weekend.  
 ① pleasant ② pleasing ③ please ④ pleased
- 7 It's only ( ) walk from the station to the theater.  
 ① five minutes ② five-minutes  
 ③ a five-minute ④ a five-minutes
- 8 I had to decide whether or not ( ) at a university abroad.  
 ① study ② studying ③ to study ④ studied
- 9 If you can't ( ) the heat, get out of the kitchen.  
 ① put up ② stay away ③ turn up ④ stand
- 10 ( ) waiting for us here for a few minutes?  
 ① Why not ② Would you mind  
 ③ How about you ④ Why don't you
- 11 No sooner ( ) than the bell rang.  
 ① I came home ② did I come home  
 ③ I had come home ④ had I come home
- 12 I don't have time to watch TV, much ( ) a movie.  
 ① not ② more ③ less ④ still
- 13 I wish I ( ) my sister's advice.  
 ① will take ② would have taken ③ were taken ④ had taken

## 英 語

(三枚のうち2)

III 次の [A] ~ [C] の日本語に合うように、それぞれ①~⑥の語句を用いて英文を完成させた時、空欄 ( 14 ) ~ ( 19 ) にあてはまる語句を選びなさい。

[A] 研究者はレタスが栄養価の高い野菜だと言います。

Researchers say ( ) ( 14 ) ( ) ( ) ( 15 ) ( ).

- ① a ② is ③ vegetable  
 ④ highly ⑤ nutritious ⑥ lettuce

[B] みんなのご厚意のおかげで私の娘の命は助かった。

My daughter's ( ) ( 16 ) ( ) ( ) ( 17 ) ( ) generosity.

- ① saved ② your ③ life  
 ④ to ⑤ thanks ⑥ was

[C] 牧場育ちなので、私には動物のことがわかります。

( ) ( 18 ) ( ) ( ) ( 19 ) ( ) ranch, I understand animals.

- ① a ② been ③ brought  
 ④ having ⑤ on ⑥ up

IV 次の英文を読んで、設問に答えなさい。

## Saving Traditional Food

With its medieval churches, tree-lined city walls and excellent regional cuisine, Lucca seems the perfect Tuscan city in Italy. But that charm is precisely what has made it the latest battleground in a tug of war between the romantic Italy of the popular imagination and the more complex reality.

Lucca's center-right city council recently caused much contention, and accusations of racism, by prohibiting new ethnic food restaurants from opening within its gorgeous historical center.

This is, after all, a walled city. Many shops have been in the same families for generations. Some locals proudly trace their lineage, or imagined lineage, back to the Etruscans, who founded Lucca before the Romans took over about 180 B.C. With so much history, change comes hard.

Lucca is "very closed," said Rogda Gok, a native of Turkey and the owner of a kebab restaurant in the heart of the historical center. "In Istanbul there's other food, like German and Italian, it's no problem," she added. "But here in Lucca, they only want Luccan food."

In this deeply conservative city, where there are already four kebab houses, proof of Italy's growing immigrant population and the fact that many Italians, especially young ones, like eating non-Italian food. Offering kebabs at \$5, the restaurants are also a bargain in difficult times.

Under the new law, these four restaurants can stay, but the opening of new ethnic and fast food restaurants within the city walls is banned. This law has struck many people here as contrary to the rules of free-market capitalism and the notion that Italy can offer more than visions of its long-dead past.

Yet those dreamy visions of Tuscany are exactly what draw the half-million tourists a year that the city relies on to survive. Lucca is not the only city caught in this struggle. Siena and other Tuscan cities have also banned fast food in their historical centers.

In Lucca, the kebab ban has also raised alarm. "It's shameful," said Renata Barbonchielli, a Lucca resident, as she stood outside a bakery downtown. "Of course there should be kebabs. We have to have openness here."

Filippo Candelise, a Lucca City Council member who handles economic development, defended the new regulation as essential for Lucca's future. "We simply want to preserve our cultural and historical identity."

Indeed, visitors from countries that pride themselves on openness do not necessarily bring the same perspective to Lucca. "An American wants to find a typical 'osteria,' not a

Chinese restaurant,” Mr. Candalise said.

(B)Others found it strange that the city would ban fast food, yet allow shops selling underwear and plastic fancy goods. “It’s hard to stay an oasis,” said Roberto Isola, the owner of a gourmet food shop. “The ban on ethnic and fast food will not do much good. I think it’s too late.”

Terauchi, et al., *Reading Wizard*

(語注) Tuscan トスカーナ州の battleground 戦場

a tug of war 綱引き (攻防) center-right city council 中道右派 (保守派) 市議会  
contention 論争 accusation 糾弾 lineage 家系 the Etruscans エトルリア人 (イタリアの先住民族)  
bargain 安い買い物 strike...as ～ ～という印象を与える free-market capitalism 自由市場資本主義  
visions of its long-dead past 昔のままの風景  
openness (文化の) 開放性 osteria オステリア (アットホームな飲食店)  
gourmet 美食の、グルメの

20 下線部(A)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 四軒の既にケバブを食べるようになった家が、イタリアの移民人口増加とイタリア人の若者のイタリア料理離れを証明する。
- ② 既に存在する四軒のケバブのレストランは、イタリアの移民人口増加と若者の多民族料理への嗜好 (しこう) 変化の証明になる。
- ③ イタリアの移民人口増加の証拠として、そして多くのイタリア人、特に若者がイタリア以外の料理を食べることを好むという事実として、既に四軒のケバブ料理店が存在する。
- ④ そこには、既に四軒のケバブを食べる家と、イタリアでは移民が増えているという証拠と、多くの若者がイタリア料理以外の食べ物を食べることが好きだという事実がある。

21 下線部(B)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 他にも市がファーストフード店を禁止し、下着やプラスチック製品を扱う店を許可するというおかしなことが見つかった。

- ② 他の人々は、市がファーストフード店は禁止するのにもかかわらず、下着やプラスチック製品のファンシーグッズを売る店は許可することは変だと思った。
- ③ 奇妙なことに、市がファーストフード店は禁止したのに、下着やプラスチック商品を売る店はまだ許可している。
- ④ 市はファーストフード店を禁止したのに、店で下着やプラスチック製の派手な商品を売ることは許可するなど他にも不思議な点がある。

22 本文の第 2、第 3 段落の内容に合わないものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 町の歴史的な中心街に多民族的なレストランを新しく開業することはできない。
- ② 何世代にもわたって家族経営をしている店が多くある。
- ③ エトルリア人に至るまでの家系を本当に辿ることはできない。
- ④ ルッカの町はエトルリア人によって作られ、その後ローマ人によって支配された。

23 本文の第 6、第 7 段落の内容に合うものとしてもっとも適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 新しい法律ではシシカバブの店は四店舗までと定められている。
- ② イタリアへやって来る観光客は昔ながらの風景が見られれば満足だ。
- ③ ルッカ市は年間五十万人の旅行者に支えられている。
- ④ シエナ市はルッカ市と違いファーストフード店を歓迎している。

24 25 本文の内容と合っているものを、①～⑥の中から二つ選びなさい。(順不同)

- ① ルッカ市は中世の教会やその地方の料理が魅力だ。
- ② 町に四軒あるシシカバブの店は全てトルコ人が経営している。
- ③ パン屋を営む Renataさんは新しい法律に反対している。
- ④ 市議会議員の Filippoさんはこの規則に賛成している。
- ⑤ アメリカ人はルッカ市でも様々な国のものを取り入れるべきだと感じている。
- ⑥ 禁止令を出したところでファーストフード店の進出はもはや止められない。

教養問題（化学基礎・生物基礎）

◆ 「化学基礎」ならびに「生物基礎」いずれも解答しなさい。

化学基礎

（解答番号は 1 ～ 21 である）

I. 次の問い(問1・問2)に答えなさい。 1 ～ 14

問1 次の文中にある 1 ～ 9 の空欄に適切な語句を語群 A より選びなさい。

周期表は、ロシアの 1 が当時知られていた元素を 2 の順に並べたものが最初である。周期表の横の列を周期、縦の列を族という。現在、国際的に用いられている周期表は、18の族と7つの周期から成る。同じ族に属している元素を 3 という。原子の構造は、中心に1個の 4 とその周りの電子殻からできている。原子核の中には 5 と 6 が含まれ、これらの和を 7 といい、原子核に含まれている 5 の数(や電子の数)を 8 という。同一元素の原子で 7 (または 6 の数が)異なるものがある。これを 9 という。

【語群 A】

|        |             |       |        |        |
|--------|-------------|-------|--------|--------|
| ① ドルトン | ② เมนделеев | ③ 陽子  | ④ 原子量  | ⑤ 原子番号 |
| ⑥ 中性子  | ⑦ 質量数       | ⑧ 原子核 | ⑨ 同族元素 | ⑩ 同位体  |

問2 次の空欄 10 ～ 14 に適切な語句や数式を B 語群より選びなさい。

電子殻は K 殻、L 殻、M 殻、N 殻の軌道があり、それぞれの電子殻に入る電子の数は 10 である。このように各電子核への電子の入りを電子配置という。原子の最も外側の電子核にある電子を 11 という。

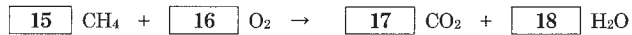
| 名称     | K 殻 | L 殻 | M 殻 | N 殻 |
|--------|-----|-----|-----|-----|
| n      | 1   | 2   | 3   | 4   |
| 電子の最大数 | 2   | 12  | 13  | 14  |

【語群 B】

|          |            |      |       |         |
|----------|------------|------|-------|---------|
| ① $2n^2$ | ② $2n^2+1$ | ③ 8  | ④ 9   | ⑤ 18    |
| ⑥ 19     | ⑦ 32       | ⑧ 33 | ⑨ 同位体 | ⑩ 最外殻電子 |

II. 次の文中の空欄に適切な語句や数式を語群 C より選びなさい。 15 ～ 21

メタンを完全燃焼させたときの化学反応式である。それぞれの係数を入れなさい。



また、メタン 6.4 g を燃焼させたときに必要な酸素は  $\boxed{19}$  L、生成される二酸化炭素  $\boxed{20}$  g と、水  $\boxed{21}$  g である。ただし、分子量は、C=12, H=1, O=16 で標準状態の気体のモル体積は 22.4 L/mol とする。

【語群 C】 (数の複数使用可)

|        |        |        |       |
|--------|--------|--------|-------|
| ① 17.9 | ② 9    | ③ 17.6 | ④ 8.8 |
| ⑤ 7.2  | ⑥ 14.4 | ⑦ 1    | ⑧ 2   |

### 生物基礎

(解答番号は  $\boxed{22}$  ～  $\boxed{39}$  である)

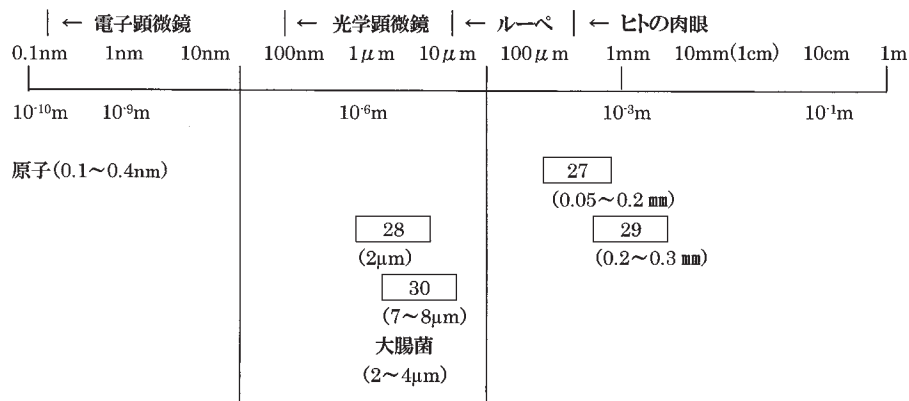
III. 次の問い(問1・問2)に答えなさい。語群 D は問1・問2共通となっています。  $\boxed{22}$  ～  $\boxed{30}$

問1 次の文中にある  $\boxed{22}$  ～  $\boxed{27}$  の空欄に適切な語句を語群 D より選びなさい。

地球上には様々な生物が存在している。生物のからだを構成している基本的な単位を細胞といい、1個の細胞で構成されているものを  $\boxed{22}$  といい、多くの細胞からできているものを  $\boxed{23}$  という。また、DNA をもっているが核膜がない細胞でできている  $\boxed{24}$  には、光合成を行う  $\boxed{25}$  や大腸菌が属している。

また、DNA が核膜で包まれた細胞をもつ  $\boxed{26}$  には、  $\boxed{27}$  やゾウリムシが属している。

問2 生物を構成する細胞は種々の大きさのものがあ、肉眼でみえるものから、顕微鏡で観察しなければならないものまである。次の図にある  $\boxed{27}$  ～  $\boxed{30}$  の空欄に適切な語句を語群 D より選びなさい。



## 【語群 D】 (語句の複数使用可)

- |         |         |            |         |         |
|---------|---------|------------|---------|---------|
| ① 原核生物  | ② 真核生物  | ③ ミトコンドリア  | ④ ヒト赤血球 | ⑤ 大腸菌   |
| ⑥ ゾウリムシ | ⑦ ミドリムシ | ⑧ シアノバクテリア | ⑨ 多細胞生物 | ⑩ 単細胞生物 |

## IV. 次の文中の空欄に適切な語句を語群 E より選びなさい。 31 ~ 39

体内環境が一定に保たれることを恒常性という。ヒトなどの脊椎動物は、血液、組織液、リンパ液から成る体液で恒常性を保っている。ヒトは、約 60 兆個の細胞から成り、その細胞は 31 とたんぱく質から成る細胞膜で覆われている。細胞内液と細胞外液の組成は大きく異なり、特に、ナトリウムイオン ( $\text{Na}^+$ ) とカリウムイオン ( $\text{K}^+$ ) の濃度差が大きい。ATP (アデニン三リン酸) が分解された時に生じる 32 を利用して、細胞内液の 33 を細胞外へくみ出し、 34 を細胞内へ取り込み、細胞内を適切な濃度に保っている。これを 35 という。このような物質の移動を 36 という。また、細胞膜には特定のイオンや物質を通過させる 37 という通路があり、濃度の高い方から低い方へ移動して調節する。これを 38 という。水は、 39 という専用の通路がある。

## 【語群 E】

- |                              |                            |            |            |
|------------------------------|----------------------------|------------|------------|
| ① アクアポリン                     | ② エネルギー                    | ③ ナトリウムポンプ | ④ イオンチャンネル |
| ⑤ ナトリウムイオン ( $\text{Na}^+$ ) | ⑥ カリウムイオン ( $\text{K}^+$ ) | ⑦ 受動輸送     | ⑧ 能動輸送     |
| ⑨ 脂質二重層                      |                            |            |            |

国語（現代文）

（五枚のうち1）

問題一

問一 次のa～eの文の空欄に入る最も適当な語を、後の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a 1、b 2、c 3、d 4、e 5。

- a 利用者に自然を守るための（ ）の負担を求めるために、通行料を徴収することになった。  
b 自分のことは自分が最もよく分かっている。（ ）な評価はむしろ迷惑だ。  
c 祭りの経費をどういう割合で二つの町に（ ）するかは、まだ合意に至っていない。  
d 遠く離れた四つの遺跡は、（ ）の狂いもなく一直線上に配置されていた。  
e 上方落語協会の会長を務めた二代目露の五郎兵衛は、落語協会の（ ）となり東京の寄席にも出演していた。

- ① 寸分 ② 傾分 ③ 過分 ④ 客分 ⑤ 応分  
⑥ 本分 ⑦ 得分 ⑧ 氣分 ⑨ 按分 ⑩ 多分

問二 次のa～eの空欄には慣用句を構成する語が入る。それぞれ最も適当なものを、後の①～⑩の中から一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a 6、b 7、c 8、d 9、e 10。

- a 事と（ ）によつては一切の取引を止めてもよいと、大変な剣幕で怒りを露わにしていた。  
b （ ）を裂くようにいとし子と引き離されて、彼女は見る見る瘦せていった。  
c 交渉が得意な彼は、（ ）まじりのできる仕事だと、高をくくっていた。  
d 退院後もすっかり義母の世話になり、（ ）が狭かった。  
e 予想どおりの接戦で、みんな（ ）を呑んで開票速報を見守っていた。

- ① 露命 ② 次第 ③ 間口 ④ 生木 ⑤ 固唾  
⑥ 鼻歌 ⑦ 口車 ⑧ 肩身 ⑨ 苦肉 ⑩ 組板

問三 AさんがBさんを「待っている」ということを、CさんがDさんに言ったとして、次のa～eの言い方では、それぞれ誰から誰への敬意が示されているか。後ろの①～⑩の説明の中からそれぞれ最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は a 11、b 12、c 13、d 14、e 15。

- a お待ちしている。  
b お待ちになつている。  
c 待つております。  
d 待つています。  
e 待つていらつしやいます。

- ① AからBへ ② BからAへ ③ CからAへ  
④ CからBへ ⑤ CからDへ ⑥ CからAとDへ  
⑦ CからBとDへ ⑧ CからAへ二重に ⑨ CからBへ二重に  
⑩ CからDへ二重に

一般・国語（現代文）

（五枚のうち2）

問四 次の文中の空欄a～eに入る最も適当な語を、後の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a 16、b 17、c 18、d 19、e 20。なお、同一の記号の空欄には同一の語が入る。

京都市の門川大作市長は27日、文化庁の市内への（ a ）を指摘し、本格的な検討を始めたことを明らかにした。既に具体的な移転先の候補地などについて（ b ）を始め、府にも協力を求めて国への提案内容をまとめる。6月にも（ a ）活動を行う（ c ）を設置する方針。  
国は地方創生総合戦略で、政府関係（ d ）の地方移転を掲げ、すでに研究（ d ）などの候補をリストアップ。道府県などは、8月末までに（ a ）を提案できる。  
リストに中央省庁本体は含まれていないが、市は、京都市は国宝の2割があるなど文化財が多く、茶道や華道など伝統文化の中心でもある」として、文化庁の移転を国に求めていくことにした。

市は5月15日に庁内に検討チームを発足させ、移転先や職員の住宅確保などについて検討を開始。（ c ）には経済や文化・観光の関係団体や大学が参加し、市民への（ e ）活動などに取り組み。

（『説元新聞』平成二十七年五月二十八日の記事に拠る。出題の都合で一部省略した。）

- ① 機関 ② 設備 ③ 選定 ④ 既定 ⑤ 協議会  
⑥ 統治 ⑦ 開設 ⑧ 誘致 ⑨ 周知 ⑩ 部局

問題二 次の文章を読み後ろの設問に答えよ。

注 無隣庵の庭園がいつ完成したかについては、いろいろな説がある。庭園、邸宅ともに一八九六（明治二九）年の完成とする説があるのだが、それ以前にすでに山県有朋はここを用いていたようなのである。そのころは一八九五（明治二八）年一〇月二三日付けの田中光顕あて書状に「南禅寺畔 無隣庵主 朋 顧首」と彼が認めているところから知られる。山県はこの手紙のなかで、「東山之風光は、如舊、楓樹は紅葉に到らざるも、野外之散歩は尤意に適し候。云々」（熊次一衛「青山余影」）と書いている。無隣庵庭園と重なる、このとき山県有朋は日清戦争の論功行賞によって侯爵に叙せられ、注 功二級金鶏勲章、旭日桐花大綬賞を受けている。また、皇室から五万円を下賜された。一八九五（明治二八）年八月五日のことである。無隣庵経営の費用もこれから充てられたと考えられている。日清戦争を勝利のうちに終えて、東山の麓を散策する山県の胸中には、誇りと自負の念が満ち満ちていたことであらう。無隣庵は、直接的には間接的に、日清戦争を父とし、琵琶湖疏水を母として生み出されたものであった。

日清戦争を勝利のうちに終えたこの時期は、明治以降の和風文化にとつて極めて重要な意味をもつ時期であるように思われる。無隣庵がつくられたのと同じ一八九五（明治二八）年、京都に平安神宮も造営されている。よく知られているように、平安神宮は京都に都が設けられてから一〇〇年目にあたる年を記念してつくられたものであった。社殿は平安京の大極殿を縮小して模したもので、設計には京都出身の工匠である木子清敬とともに、工部大学校を卒業したばかりの伊東忠太（後の帝国大学教授）が当たった。ここに大学出の建築家が伝統的建築を設計するという現象が生じたのである。

同じ年、京都と並ぶ古都・奈良では、県庁舎が和風の様式で建設された。設計はこれまた工部大学校卒業の長野宇平治。京都という奈良といひ、ともに古都であるから、公的品格を帯びた建築物が和風で設計されるのも極めて自然かと思われる。だが、工部大学校はもともと西洋技術修得のための機関であり、そこを卒業した建築家、すなわち a「洋才」をもつて立つべき建築家が、和風のデザインを試みたことの意味は大きい。

さらにまた、この前年、一八九四（明治二七）年には、伊東忠太や長野宇平治らに西洋建築をはじめ教授したお雇い外国人建築家ジョサイア・コンドルが、彼の作品中極めて異色な和洋折衷の建築、唯一館を設計している。この建物は外観を柱の見える真壁づくりという日本風のつくりで、和風の屋根をもち、千鳥破風までもつた建築である。

ジョサイア・コンドルは、日本で教育を行なうとともに、実際の設計も数多く行なってきた。鹿鳴館は最も有名な作品であるし、それ以外にも上野につくられた博物館や北海道開拓使のための物産売りさばき所なども設計している。けれども、それまでのコンドルは、自分の様式観にもとづいた試みは行なうものの、日本風の建築は設計してこなかった。その彼が、ここではじめて日本を最大限に意識し、取り入れた建築を設計しているのである。この意味は何であらうか。

一八九四～九五（明治二七～二八）年に、お雇い外国人建築家ジョサイア・コンドルと、彼に西洋建築を習った日本人建築家たちが、ともに和風の建築をつくり出すのは、単なる偶然とは思えない。日本の理想は、西欧列強に伍して世界の富国となり、

強国となることであつたはずである。建築は国家の装飾として、西欧そのままの姿のものを手に入れるよう要請されていたのではなかったか、それが工部大学校に要請された「洋才」であつたはずである。「洋才」を體現した存在たるべきコンドルと、その「洋才」を身に付けるべき日本人建築家たちとが、ともに和風の建築を設計する。これは異常である。

おそらく日清戦争に重なるこの時期に、日本の建築はそれまでの西欧建築修得のための段階にある程度終え、主体的な試みを行なえる水準にまで成長したのではないか。だが、何をもう一定の水準といふかはむずかしい。それは主観的な問題にしか過ぎないと言へば言えるからである。第一、学習途上であることも、日本における建築の表現としてふさわしい造型を求めることは、大いにあり得る。不完全であることも、試みとしてのナショナル・アイデンティティの追求は起り得るからである。むしろ和風の建築表現を、学習の効果が上がったうえで応用問題への前身と考えるよりも、やむにやまれぬ「和魂」の表現と考えてみたかどうか。おそらく「和魂」はその間の緊張関係によつて生ずるものに違いない。

明治以降、急速な近代化を進める日本にとつて、「和魂洋才」というイデオロギーは、近代化の作業遂行と自己の文化的アイデンティティとを両立させるための、あやうい立脚点であつた。だが、そのあやういバランスは、つねに足元から崩壊しがちであつた。

明治維新の原動力となり推進力となつた<sup>注</sup>草莽の志士たちは、維新の成立とともに官僚機構整備のなかで自分たちの場所を失つてゆく。島崎藤村の『夜明け前』の主人公、青山半蔵は草深い木曾の宿場で平田神道の復讐するべき維新に夢を抱きながらも、その夢が無残に壊れてゆくなかで狂死する。西南戦争に死ぬ西郷隆盛も、そうした志士たちの姿のなかに自らを投げ入れることによる死を死んでいったのだつた。

近代化とは、産業革命以後の西欧が生み出したインターナショナルな価値観を他の国々が受け入れてゆくプロセスであつた。少なくとも、日本のように外圧に抗しながら近代化を受け入れていった国家においては、そうであつた。

「和魂」は心のうちに抱かれつづけていると称されても、外形に現れる世界、すなわち技術、制度、そして芸術までもが、すべて「洋才」によつてかたちづくられてゆく。維新とともに大型和船の建造は禁止され、医学は西洋医学に向かい、法律も訴訟も西洋の制度に合わせて整備が進む。そうした近代化のプロセスにあつて、「和魂」を守り抜くとするならば、外形に現れる世界や制度のすべてを、「一種のテクニク」として「技術化」するよりほかはないではないか。

日本の近代化が<sup>注</sup>跛行であつたのは、西欧文明を一種の技術としてとらえたにとどまり、その思想性を真に理解するにいたつていなかつたからだとする議論が一時期多かったが、これは誤つている。明治期の日本人にとっては、西欧文明を「技術」の領域に封じ込めておくことが、自らの文化的アイデンティティを守るための必死の手段だったのだである。

だがやがて、外形の世界を「技術化」しきれなくなる時代がやってくる。「和魂」と「洋才」とは本来そう小器用に分けられるものではないし、「和魂」はそれ自身のかたちを求めようとはじめる。文化的アイデンティティとはそうしたものだ。<sup>d</sup> <sup>21</sup> <sup>22</sup> <sup>23</sup> <sup>24</sup> <sup>25</sup> <sup>26</sup> <sup>27</sup> <sup>28</sup> <sup>29</sup> <sup>30</sup> <sup>31</sup> <sup>32</sup> <sup>33</sup> <sup>34</sup> <sup>35</sup> <sup>36</sup> <sup>37</sup> <sup>38</sup> <sup>39</sup> <sup>40</sup> <sup>41</sup> <sup>42</sup> <sup>43</sup> <sup>44</sup> <sup>45</sup> <sup>46</sup> <sup>47</sup> <sup>48</sup> <sup>49</sup> <sup>50</sup> <sup>51</sup> <sup>52</sup> <sup>53</sup> <sup>54</sup> <sup>55</sup> <sup>56</sup> <sup>57</sup> <sup>58</sup> <sup>59</sup> <sup>60</sup> <sup>61</sup> <sup>62</sup> <sup>63</sup> <sup>64</sup> <sup>65</sup> <sup>66</sup> <sup>67</sup> <sup>68</sup> <sup>69</sup> <sup>70</sup> <sup>71</sup> <sup>72</sup> <sup>73</sup> <sup>74</sup> <sup>75</sup> <sup>76</sup> <sup>77</sup> <sup>78</sup> <sup>79</sup> <sup>80</sup> <sup>81</sup> <sup>82</sup> <sup>83</sup> <sup>84</sup> <sup>85</sup> <sup>86</sup> <sup>87</sup> <sup>88</sup> <sup>89</sup> <sup>90</sup> <sup>91</sup> <sup>92</sup> <sup>93</sup> <sup>94</sup> <sup>95</sup> <sup>96</sup> <sup>97</sup> <sup>98</sup> <sup>99</sup> <sup>100</sup> <sup>101</sup> <sup>102</sup> <sup>103</sup> <sup>104</sup> <sup>105</sup> <sup>106</sup> <sup>107</sup> <sup>108</sup> <sup>109</sup> <sup>110</sup> <sup>111</sup> <sup>112</sup> <sup>113</sup> <sup>114</sup> <sup>115</sup> <sup>116</sup> <sup>117</sup> <sup>118</sup> <sup>119</sup> <sup>120</sup> <sup>121</sup> <sup>122</sup> <sup>123</sup> <sup>124</sup> <sup>125</sup> <sup>126</sup> <sup>127</sup> <sup>128</sup> <sup>129</sup> <sup>130</sup> <sup>131</sup> <sup>132</sup> <sup>133</sup> <sup>134</sup> <sup>135</sup> <sup>136</sup> <sup>137</sup> <sup>138</sup> <sup>139</sup> <sup>140</sup> <sup>141</sup> <sup>142</sup> <sup>143</sup> <sup>144</sup> <sup>145</sup> <sup>146</sup> <sup>147</sup> <sup>148</sup> <sup>149</sup> <sup>150</sup> <sup>151</sup> <sup>152</sup> <sup>153</sup> <sup>154</sup> <sup>155</sup> <sup>156</sup> <sup>157</sup> <sup>158</sup> <sup>159</sup> <sup>160</sup> <sup>161</sup> <sup>162</sup> <sup>163</sup> <sup>164</sup> <sup>165</sup> <sup>166</sup> <sup>167</sup> <sup>168</sup> <sup>169</sup> <sup>170</sup> <sup>171</sup> <sup>172</sup> <sup>173</sup> <sup>174</sup> <sup>175</sup> <sup>176</sup> <sup>177</sup> <sup>178</sup> <sup>179</sup> <sup>180</sup> <sup>181</sup> <sup>182</sup> <sup>183</sup> <sup>184</sup> <sup>185</sup> <sup>186</sup> <sup>187</sup> <sup>188</sup> <sup>189</sup> <sup>190</sup> <sup>191</sup> <sup>192</sup> <sup>193</sup> <sup>194</sup> <sup>195</sup> <sup>196</sup> <sup>197</sup> <sup>198</sup> <sup>199</sup> <sup>200</sup> <sup>201</sup> <sup>202</sup> <sup>203</sup> <sup>204</sup> <sup>205</sup> <sup>206</sup> <sup>207</sup> <sup>208</sup> <sup>209</sup> <sup>210</sup> <sup>211</sup> <sup>212</sup> <sup>213</sup> <sup>214</sup> <sup>215</sup> <sup>216</sup> <sup>217</sup> <sup>218</sup> <sup>219</sup> <sup>220</sup> <sup>221</sup> <sup>222</sup> <sup>223</sup> <sup>224</sup> <sup>225</sup> <sup>226</sup> <sup>227</sup> <sup>228</sup> <sup>229</sup> <sup>230</sup> <sup>231</sup> <sup>232</sup> <sup>233</sup> <sup>234</sup> <sup>235</sup> <sup>236</sup> <sup>237</sup> <sup>238</sup> <sup>239</sup> <sup>240</sup> <sup>241</sup> <sup>242</sup> <sup>243</sup> <sup>244</sup> <sup>245</sup> <sup>246</sup> <sup>247</sup> <sup>248</sup> <sup>249</sup> <sup>250</sup> <sup>251</sup> <sup>252</sup> <sup>253</sup> <sup>254</sup> <sup>255</sup> <sup>256</sup> <sup>257</sup> <sup>258</sup> <sup>259</sup> <sup>260</sup> <sup>261</sup> <sup>262</sup> <sup>263</sup> <sup>264</sup> <sup>265</sup> <sup>266</sup> <sup>267</sup> <sup>268</sup> <sup>269</sup> <sup>270</sup> <sup>271</sup> <sup>272</sup> <sup>273</sup> <sup>274</sup> <sup>275</sup> <sup>276</sup> <sup>277</sup> <sup>278</sup> <sup>279</sup> <sup>280</sup> <sup>281</sup> <sup>282</sup> <sup>283</sup> <sup>284</sup> <sup>285</sup> <sup>286</sup> <sup>287</sup> <sup>288</sup> <sup>289</sup> <sup>290</sup> <sup>291</sup> <sup>292</sup> <sup>293</sup> <sup>294</sup> <sup>295</sup> <sup>296</sup> <sup>297</sup> <sup>298</sup> <sup>299</sup> <sup>300</sup> <sup>301</sup> <sup>302</sup> <sup>303</sup> <sup>304</sup> <sup>305</sup> <sup>306</sup> <sup>307</sup> <sup>308</sup> <sup>309</sup> <sup>310</sup> <sup>311</sup> <sup>312</sup> <sup>313</sup> <sup>314</sup> <sup>315</sup> <sup>316</sup> <sup>317</sup> <sup>318</sup> <sup>319</sup> <sup>320</sup> <sup>321</sup> <sup>322</sup> <sup>323</sup> <sup>324</sup> <sup>325</sup> <sup>326</sup> <sup>327</sup> <sup>328</sup> <sup>329</sup> <sup>330</sup> <sup>331</sup> <sup>332</sup> <sup>333</sup> <sup>334</sup> <sup>335</sup> <sup>336</sup> <sup>337</sup> <sup>338</sup> <sup>339</sup> <sup>340</sup> <sup>341</sup> <sup>342</sup> <sup>343</sup> <sup>344</sup> <sup>345</sup> <sup>346</sup> <sup>347</sup> <sup>348</sup> <sup>349</sup> <sup>350</sup> <sup>351</sup> <sup>352</sup> <sup>353</sup> <sup>354</sup> <sup>355</sup> <sup>356</sup> <sup>357</sup> <sup>358</sup> <sup>359</sup> <sup>360</sup> <sup>361</sup> <sup>362</sup> <sup>363</sup> <sup>364</sup> <sup>365</sup> <sup>366</sup> <sup>367</sup> <sup>368</sup> <sup>369</sup> <sup>370</sup> <sup>371</sup> <sup>372</sup> <sup>373</sup> <sup>374</sup> <sup>375</sup> <sup>376</sup> <sup>377</sup> <sup>378</sup> <sup>379</sup> <sup>380</sup> <sup>381</sup> <sup>382</sup> <sup>383</sup> <sup>384</sup> <sup>385</sup> <sup>386</sup> <sup>387</sup> <sup>388</sup> <sup>389</sup> <sup>390</sup> <sup>391</sup> <sup>392</sup> <sup>393</sup> <sup>394</sup> <sup>395</sup> <sup>396</sup> <sup>397</sup> <sup>398</sup> <sup>399</sup> <sup>400</sup> <sup>401</sup> <sup>402</sup> <sup>403</sup> <sup>404</sup> <sup>405</sup> <sup>406</sup> <sup>407</sup> <sup>408</sup> <sup>409</sup> <sup>410</sup> <sup>411</sup> <sup>412</sup> <sup>413</sup> <sup>414</sup> <sup>415</sup> <sup>416</sup> <sup>417</sup> <sup>418</sup> <sup>419</sup> <sup>420</sup> <sup>421</sup> <sup>422</sup> <sup>423</sup> <sup>424</sup> <sup>425</sup> <sup>426</sup> <sup>427</sup> <sup>428</sup> <sup>429</sup> <sup>430</sup> <sup>431</sup> <sup>432</sup> <sup>433</sup> <sup>434</sup> <sup>435</sup> <sup>436</sup> <sup>437</sup> <sup>438</sup> <sup>439</sup> <sup>440</sup> <sup>441</sup> <sup>442</sup> <sup>443</sup> <sup>444</sup> <sup>445</sup> <sup>446</sup> <sup>447</sup> <sup>448</sup> <sup>449</sup> <sup>450</sup> <sup>451</sup> <sup>452</sup> <sup>453</sup> <sup>454</sup> <sup>455</sup> <sup>456</sup> <sup>457</sup> <sup>458</sup> <sup>459</sup> <sup>460</sup> <sup>461</sup> <sup>462</sup> <sup>463</sup> <sup>464</sup> <sup>465</sup> <sup>466</sup> <sup>467</sup> <sup>468</sup> <sup>469</sup> <sup>470</sup> <sup>471</sup> <sup>472</sup> <sup>473</sup> <sup>474</sup> <sup>475</sup> <sup>476</sup> <sup>477</sup> <sup>478</sup> <sup>479</sup> <sup>480</sup> <sup>481</sup> <sup>482</sup> <sup>483</sup> <sup>484</sup> <sup>485</sup> <sup>486</sup> <sup>487</sup> <sup>488</sup> <sup>489</sup> <sup>490</sup> <sup>491</sup> <sup>492</sup> <sup>493</sup> <sup>494</sup> <sup>495</sup> <sup>496</sup> <sup>497</sup> <sup>498</sup> <sup>499</sup> <sup>500</sup> <sup>501</sup> <sup>502</sup> <sup>503</sup> <sup>504</sup> <sup>505</sup> <sup>506</sup> <sup>507</sup> <sup>508</sup> <sup>509</sup> <sup>510</sup> <sup>511</sup> <sup>512</sup> <sup>513</sup> <sup>514</sup> <sup>515</sup> <sup>516</sup> <sup>517</sup> <sup>518</sup> <sup>519</sup> <sup>520</sup> <sup>521</sup> <sup>522</sup> <sup>523</sup> <sup>524</sup> <sup>525</sup> <sup>526</sup> <sup>527</sup> <sup>528</sup> <sup>529</sup> <sup>530</sup> <sup>531</sup> <sup>532</sup> <sup>533</sup> <sup>534</sup> <sup>535</sup> <sup>536</sup> <sup>537</sup> <sup>538</sup> <sup>539</sup> <sup>540</sup> <sup>541</sup> <sup>542</sup> <sup>543</sup> <sup>544</sup> <sup>545</sup> <sup>546</sup> <sup>547</sup> <sup>548</sup> <sup>549</sup> <sup>550</sup> <sup>551</sup> <sup>552</sup> <sup>553</sup> <sup>554</sup> <sup>555</sup> <sup>556</sup> <sup>557</sup> <sup>558</sup> <sup>559</sup> <sup>560</sup> <sup>561</sup> <sup>562</sup> <sup>563</sup> <sup>564</sup> <sup>565</sup> <sup>566</sup> <sup>567</sup> <sup>568</sup> <sup>569</sup> <sup>570</sup> <sup>571</sup> <sup>572</sup> <sup>573</sup> <sup>574</sup> <sup>575</sup> <sup>576</sup> <sup>577</sup> <sup>578</sup> <sup>579</sup> <sup>580</sup> <sup>581</sup> <sup>582</sup> <sup>583</sup> <sup>584</sup> <sup>585</sup> <sup>586</sup> <sup>587</sup> <sup>588</sup> <sup>589</sup> <sup>590</sup> <sup>591</sup> <sup>592</sup> <sup>593</sup> <sup>594</sup> <sup>595</sup> <sup>596</sup> <sup>597</sup> <sup>598</sup> <sup>599</sup> <sup>600</sup> <sup>601</sup> <sup>602</sup> <sup>603</sup> <sup>604</sup> <sup>605</sup> <sup>606</sup> <sup>607</sup> <sup>608</sup> <sup>609</sup> <sup>610</sup> <sup>611</sup> <sup>612</sup> <sup>613</sup> <sup>614</sup> <sup>615</sup> <sup>616</sup> <sup>617</sup> <sup>618</sup> <sup>619</sup> <sup>620</sup> <sup>621</sup> <sup>622</sup> <sup>623</sup> <sup>624</sup> <sup>625</sup> <sup>626</sup> <sup>627</sup> <sup>628</sup> <sup>629</sup> <sup>630</sup> <sup>631</sup> <sup>632</sup> <sup>633</sup> <sup>634</sup> <sup>635</sup> <sup>636</sup> <sup>637</sup> <sup>638</sup> <sup>639</sup> <sup>640</sup> <sup>641</sup> <sup>642</sup> <sup>643</sup> <sup>644</sup> <sup>645</sup> <sup>646</sup> <sup>647</sup> <sup>648</sup> <sup>649</sup> <sup>650</sup> <sup>651</sup> <sup>652</sup> <sup>653</sup> <sup>654</sup> <sup>655</sup> <sup>656</sup> <sup>657</sup> <sup>658</sup> <sup>659</sup> <sup>660</sup> <sup>661</sup> <sup>662</sup> <sup>663</sup> <sup>664</sup> <sup>665</sup> <sup>666</sup> <sup>667</sup> <sup>668</sup> <sup>669</sup> <sup>670</sup> <sup>671</sup> <sup>672</sup> <sup>673</sup> <sup>674</sup> <sup>675</sup> <sup>676</sup> <sup>677</sup> <sup>678</sup> <sup>679</sup> <sup>680</sup> <sup>681</sup> <sup>682</sup> <sup>683</sup> <sup>684</sup> <sup>685</sup> <sup>686</sup> <sup>687</sup> <sup>688</sup> <sup>689</sup> <sup>690</sup> <sup>691</sup> <sup>692</sup> <sup>693</sup> <sup>694</sup> <sup>695</sup> <sup>696</sup> <sup>697</sup> <sup>698</sup> <sup>699</sup> <sup>700</sup> <sup>701</sup> <sup>702</sup> <sup>703</sup> <sup>704</sup> <sup>705</sup> <sup>706</sup> <sup>707</sup> <sup>708</sup> <sup>709</sup> <sup>710</sup> <sup>711</sup> <sup>712</sup> <sup>713</sup> <sup>714</sup> <sup>715</sup> <sup>716</sup> <sup>717</sup> <sup>718</sup> <sup>719</sup> <sup>720</sup> <sup>721</sup> <sup>722</sup> <sup>723</sup> <sup>724</sup> <sup>725</sup> <sup>726</sup> <sup>727</sup> <sup>728</sup> <sup>729</sup> <sup>730</sup> <sup>731</sup> <sup>732</sup> <sup>733</sup> <sup>734</sup> <sup>735</sup> <sup>736</sup> <sup>737</sup> <sup>738</sup> <sup>739</sup> <sup>740</sup> <sup>741</sup> <sup>742</sup> <sup>743</sup> <sup>744</sup> <sup>745</sup> <sup>746</sup> <sup>747</sup> <sup>748</sup> <sup>749</sup> <sup>750</sup> <sup>751</sup> <sup>752</sup> <sup>753</sup> <sup>754</sup> <sup>755</sup> <sup>756</sup> <sup>757</sup> <sup>758</sup> <sup>759</sup> <sup>760</sup> <sup>761</sup> <sup>762</sup> <sup>763</sup> <sup>764</sup> <sup>765</sup> <sup>766</sup> <sup>767</sup> <sup>768</sup> <sup>769</sup> <sup>770</sup> <sup>771</sup> <sup>772</sup> <sup>773</sup> <sup>774</sup> <sup>775</sup> <sup>776</sup> <sup>777</sup> <sup>778</sup> <sup>779</sup> <sup>780</sup> <sup>781</sup> <sup>782</sup> <sup>783</sup> <sup>784</sup> <sup>785</sup> <sup>786</sup> <sup>787</sup> <sup>788</sup> <sup>789</sup> <sup>790</sup> <sup>791</sup> <sup>792</sup> <sup>793</sup> <sup>794</sup> <sup>795</sup> <sup>796</sup> <sup>797</sup> <sup>798</sup> <sup>799</sup> <sup>800</sup> <sup>801</sup> <sup>802</sup> <sup>803</sup> <sup>804</sup> <sup>805</sup> <sup>806</sup> <sup>807</sup> <sup>808</sup> <sup>809</sup> <sup>810</sup> <sup>811</sup> <sup>812</sup> <sup>813</sup> <sup>814</sup> <sup>815</sup> <sup>816</sup> <sup>817</sup> <sup>818</sup> <sup>819</sup> <sup>820</sup> <sup>821</sup> <sup>822</sup> <sup>823</sup> <sup>824</sup> <sup>825</sup> <sup>826</sup> <sup>827</sup> <sup>828</sup> <sup>829</sup> <sup>830</sup> <sup>831</sup> <sup>832</sup> <sup>833</sup> <sup>834</sup> <sup>835</sup> <sup>836</sup> <sup>837</sup> <sup>838</sup> <sup>839</sup> <sup>840</sup> <sup>841</sup> <sup>842</sup> <sup>843</sup> <sup>844</sup> <sup>845</sup> <sup>846</sup> <sup>847</sup> <sup>848</sup> <sup>849</sup> <sup>850</sup> <sup>851</sup> <sup>852</sup> <sup>853</sup> <sup>854</sup> <sup>855</sup> <sup>856</sup> <sup>857</sup> <sup>858</sup> <sup>859</sup> <sup>860</sup> <sup>861</sup> <sup>862</sup> <sup>863</sup> <sup>864</sup> <sup>865</sup> <sup>866</sup> <sup>867</sup> <sup>868</sup> <sup>869</sup> <sup>870</sup> <sup>871</sup> <sup>872</sup> <sup>873</sup> <sup>874</sup> <sup>875</sup> <sup>876</sup> <sup>877</sup> <sup>878</sup> <sup>879</sup> <sup>880</sup> <sup>881</sup> <sup>882</sup> <sup>883</sup> <sup>884</sup> <sup>885</sup> <sup>886</sup> <sup>887</sup> <sup>888</sup> <sup>889</sup> <sup>890</sup> <sup>891</sup> <sup>892</sup> <sup>893</sup> <sup>894</sup> <sup>895</sup> <sup>896</sup> <sup>897</sup> <sup>898</sup> <sup>899</sup> <sup>900</sup> <sup>901</sup> <sup>902</sup> <sup>903</sup> <sup>904</sup> <sup>905</sup> <sup>906</sup> <sup>907</sup> <sup>908</sup> <sup>909</sup> <sup>910</sup> <sup>911</sup> <sup>912</sup> <sup>913</sup> <sup>914</sup> <sup>915</sup> <sup>916</sup> <sup>917</sup> <sup>918</sup> <sup>919</sup> <sup>920</sup> <sup>921</sup> <sup>922</sup> <sup>923</sup> <sup>924</sup> <sup>925</sup> <sup>926</sup> <sup>927</sup> <sup>928</sup> <sup>929</sup> <sup>930</sup> <sup>931</sup> <sup>932</sup> <sup>933</sup> <sup>934</sup> <sup>935</sup> <sup>936</sup> <sup>937</sup> <sup>938</sup> <sup>939</sup> <sup>940</sup> <sup>941</sup> <sup>942</sup> <sup>943</sup> <sup>944</sup> <sup>945</sup> <sup>946</sup> <sup>947</sup> <sup>948</sup> <sup>949</sup> <sup>950</sup> <sup>951</sup> <sup>952</sup> <sup>953</sup> <sup>954</sup> <sup>955</sup> <sup>956</sup> <sup>957</sup> <sup>958</sup> <sup>959</sup> <sup>960</sup> <sup>961</sup> <sup>962</sup> <sup>963</sup> <sup>964</sup> <sup>965</sup> <sup>966</sup> <sup>967</sup> <sup>968</sup> <sup>969</sup> <sup>970</sup> <sup>971</sup> <sup>972</sup> <sup>973</sup> <sup>974</sup> <sup>975</sup> <sup>976</sup> <sup>977</sup> <sup>978</sup> <sup>979</sup> <sup>980</sup> <sup>981</sup> <sup>982</sup> <sup>983</sup> <sup>984</sup> <sup>985</sup> <sup>986</sup> <sup>987</sup> <sup>988</sup> <sup>989</sup> <sup>990</sup> <sup>991</sup> <sup>992</sup> <sup>993</sup> <sup>994</sup> <sup>995</sup> <sup>996</sup> <sup>997</sup> <sup>998</sup> <sup>999</sup> <sup>1000</sup>

「少なからぬものが現在の文明よりも、過去の彼ら「日本人」の文明に属している。天が下、これほど愛国的な国はない。明治以降の和風文化の造型は、「和魂」のかたちを求める衝動の軌跡として、あらためて見直される必要がある。洋風の造型が「公」の表現であり、「制度」の表現であつたのに対して、和風の文化は「私」の部分の本音であつた。だが、実際はそれはど単純なものではなく、和風の表現を日本の文化的アイデンティティとして、「公」の世界にもち込もうとするうねりが存在する。一八九四〜九五（明治二七〜二八）年の造型を、平安神宮、奈良県庁舎、唯一館、そして山県有朋の無隣庵という系列で追つてみるならば、そこには和風衝動とでも言うべき、時代のひとつの波を認めることができる。この時期は、まさしく日清戦争に一致する。近代というプロセスを懸命に追つた日本が、自己の「洋才」の習得を戦争の場で検証するのと同時期に、こうした和風衝動が公的な施設や場の表現を含みかたちで出現してくる。

一八九六（明治二九）年三月二日、先に述べた「大師会」が東京で発足している。三井系の実業家・益田孝が前年に弘法大師の筆になる座右銘「一六字」巻を手に入れたことは偶然であつても、それに因んで茶会がはじめられ、以後実業家たちのサークルとして大きな存在となつてゆくのは、偶然ではない。かつては鹿鳴館を舞台に、条約改正を目指す欧化政策を遂行していた上層も、還暦を迎えた同年頃から、しばしば東京で茶会を催すようになる。この井上の茶会には、益田の「大師会」と重なるところの多いメンバーが集まつた。

こうして「和魂」の表現の流れは、政治や実業の世界の有力者たちのあいだを、ゆるやかに流れてゆくようになる。それは「洋才」による近代化の否定ではなく、むしろ「洋才」の発展を前提としたものだった。しかも、「和魂」の表現の流れは茶会の趣味だけでなく、さまざまな表現をとつて現われゆく。疏水から生まれた庭園もそのひとつなのである。山県有朋は茶会にこそ出遅れたが、それよりもある意味では規模の大きい庭園趣味の王者として君臨しつづけた。茶道と庭園は、和魂の表現の場としてまことにふさわしいものだった。

二一世紀の現在においてさえ、国際社会で日本の文化を語ろうとすると、神道と禅と茶の湯の三つのキーワードは、絶大な力を発揮する。それは、海外の人々が日本に対して期待する文化イメージそのものだからである。相手の期待に添った日本像を示せば、それが受け入れられるのは当たり前である。本当は現代の日本人が馴染んでもいない神道と禅と茶の湯を振りかざして日本を語ることは、自己の文化的アイデンティティの喪失以外の何物でもないのだが、そこらわられわれは容易に抜け出せない。

それでは一八九四〜九五（明治二七〜二八）年の造型は、現代にも見られる「期待される日本イメージの演出」だったのだろうか。そうではあるまい。そこにはもう少し切実なアイデンティティ希求の衝動があつた。「富国強兵」と並んで唱えられる「和魂洋才」には、その裏に「近代化」の圧力が重くのしかかつていた。近代化を主体的に推し進めれば推し進めるほど、揺らいでくる自己の立場の不安を跳ねのけるものとして、彼らの茶道と庭園はあつた。なかでも庭園は、最も心安く場を与えてくれるものであつたし、それを構えるには莫大な財産が必要であつたから、大庭園をもつことのできる所有者たちを慰め、誇りを与えるとともに、力づけてくれる大いなる魔力をもつていた。

話を飛躍させるなら、近代がもたらしたものが西洋建築といつかにも地に足の着かない「空間」であつたのに対し、庭園には「場所」があつたのだとも言えよう。そこには動かすことのできない確固たる場所があつた。そのことが庭園に行む人々に、安心と誇りと慰めをもたらしてくるもののである。

無隣庵の庭園は、近代化への道を歩みはじめた日本が、新しい日本のアイデンティティの表現として、はじめて示し得た成果であつた。無隣庵の庭園は西欧の（<sup>1</sup>）ではなく、また、伝統への（<sup>2</sup>）でもない。それは日本の近代化を推し進める権力者たちが自己を投影できる、はじめての表現だったのである。（鈴木博之『庭師小川治兵衛とその時代』に拠る。）

注

無隣庵……正式には「無鄰庵」と書く。山県有朋が琵琶湖疎水インクラインの畔に作った京都別邸で、本学の旧地にあつた久原邸に入りしていた七代目小川治兵衛が、久原庄三郎の紹介で作庭した。この後近隣に七代目小川治兵衛の手になる庭を持つ別荘群が形成されるが、そのいずれも琵琶湖疎水の水を庭に引き入れていた。

如箇……「如旧」に同じ。なお、下の「元」は「もと」と読む。  
功一級金鶏勲章、旭日桐花大綬章……金鶏勲章は、戦前功績のあつた軍人に送られた勲章。山県有朋は日露戦争後に功一級金鶏勲章を受けた。旭日桐花大綬章は、大勲位菊花大綬章に次ぐ最上位の普通勲章で、正式には「章」を用いるが、しばしば「賞」とも表記される。

草莽……民間。在野。幕末には、吉田松陰等によつて武士以外の人や脱藩者がこう呼ばれ、国家的危機にある日本の改革を担う者として期待され、草莽の志士は尊王攘夷運動や討幕運動に参加していった。  
跛行的……物事が全体的なまとまりを欠くさま。物事の進行の足まみがそろわずぐずぐずなさま。

問一 本文中で使われている「洋才」という語は、どういう意味を表すか。次の①〜⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 21。

- ① 西欧の学問や技術に関する知識やそれを使いこなす技能
- ② 西欧の学問や技術を身に付けるための持つて生まれた能力
- ③ 西欧の学問や技術を使いこなす生来の能力
- ④ 西欧の生み出したインターナショナルな価値観が生み出す外形
- ⑤ 西欧の技術が裏に秘めている思想性や世界観

問二 傍線部aに「「洋才」をもつて立つべき建築家が、和風のデザインを試みたことの意味は大きい」とあるが、なぜ「意味は大きい」のか。その説明として最も適当なものを、次の①〜⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 22。

- ① 日本の建築が主体的な試みを行なえる水準にまで成長した証左となるから
- ② 和風の表現を公的性格を帯びた建築物にち込むという、自然なことができていたから
-

問三 傍線部bの「和魂」は「洋才」との間の緊張関係によつて生ずる」とはどういうことか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 23。

- ① 「和魂」は「洋才」があつて初めて誕生するものであるということ
- ② 「和魂」は「洋才」と競い合うことで大きくなつてゆくということ
- ③ 「和魂」は「洋才」とのあやういバランスが崩壊する過程で生まれるということ
- ④ 「和魂」は「洋才」と対峙しながらやがて融合することで発生するということ
- ⑤ 「和魂」は「洋才」の強大な顕在化を目にして強く意識されるようになるということ

問四 傍線部cの「一種のテクニクとして「技術化」する」とは同じ意味内容を表す文中の表現として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 24。

- ① 西欧文明を一種の技術としてとらえた
- ② 西欧文明を「技術」の領域に封じ込めておく
- ③ 自らの文化的アイデンティティを守るための必死の手段だった
- ④ 西欧の技術が裏に秘めている思想性や世界観を理解しようとする
- ⑤ 自己の「洋才」の習得を戦争の場で検証する

問五 傍線部dの「それ」とは何か。その具体的内容の説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 25。

- ① 西欧文明を「技術」の領域に封じ込めておくこと
- ② 自らの文化的アイデンティティを守ること
- ③ 「和魂」がそれ自身のかたちを求めようとはじめること
- ④ 文化的アイデンティティ
- ⑤ 文化的アイデンティティとはそうしたものであること

問六 傍線部eの「偶然ではない」とはほぼ同じ内容を表す文中の表現として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 26。

- ① いっその切実さをもつ
- ② 時代のひとつの波を認めることができよう
- ③ 和魂の表現の場としてまことにふさわしいものだった
- ④ 動かすことのできない確固たる場所があった
- ⑤ はじめて示し得た成果であつた

問七 文中の二つの空欄gとfに入る語として最も適当なものを、次の①～⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は 27 と 28。

- |      |      |      |      |      |
|------|------|------|------|------|
| ① 肯定 | ② 否定 | ③ 決別 | ④ 昇華 | ⑤ 帰着 |
| ⑥ 回帰 | ⑦ 妥協 | ⑧ 転換 | ⑨ 撰取 | ⑩ 義望 |

## 英語

(三枚のうち1)

I 次の対話文の空欄 ( 1 ) ~ ( 3 ) に入れるのにもっとも適当なものを、①~④の中から一つ選びなさい。

A: Hi, how are you?  
 B: Good. How are you?  
 A: Okay. ( 1 )  
 B: Oh, it was great. I went to visit my friend in the U.S. and we celebrated the New Year's together.  
 A: Wow, ( 2 ). What did you do to celebrate?  
 B: We had a party at a friend's house. We had dinner, drank sake, watched football games, played billiards, etc. We had a good crowd of people, and we had so much fun.  
 A: I wish I were there with you.  
 B: So, how was your vacation? Did you have a good time with your family?  
 A: Yeah, I mostly stayed home, but ( 3 ) with my sister's family.  
 B: Oh, great! Did you draw an *omikuji*?  
 A: Yes, and it said that I would have the best of luck!!

- 1 ① What have you been doing?  
 ② What did you do during the vacation?  
 ③ How was the vacation?  
 ④ How was America?
- 2 ① I hear it well  
 ② that sounds fun  
 ③ it looks great  
 ④ I say it's nice
- 3 ① we played card games a lot  
 ② we prepared for the New Year's Day  
 ③ we visited our relatives  
 ④ we paid the first visit to the nearby shrine

II 次の 4 ~ 13 の空欄に入れるのにもっとも適当なものを、①~④の中から一つ選びなさい。

- 4 ( ) is used to sweeten food.  
 ① A sugar ② Any sugar ③ Sugar ④ The sugar
- 5 She is looking forward to ( ) her parents in a few weeks.  
 ① see ② have seen ③ seeing ④ be seen
- 6 Let's get started, ( )?  
 ① will we ② do they ③ shall we ④ would you
- 7 I need it on February 1, so give it back to me ( ) January 31.  
 ① at ② by ③ to ④ until
- 8 You had better go now, ( ) you'll miss the train.  
 ① but ② however ③ meanwhile ④ otherwise
- 9 His father passed away and he ( ) a big fortune.  
 ① inherited ② complained ③ removed ④ suffered
- 10 We are going to Osaka to see my daughter ( ).  
 ① dance ② dances ③ dancing ④ will dance
- 11 "I don't have enough change for the bus fare." "( )"  
 ① Me, too. ② I don't, either. ③ So do I. ④ Neither have I.
- 12 Only 2 percent of the population is not ( ).  
 ① literal ② literary ③ literate ④ literature
- 13 Natalie has ( ) tennis as a hobby.  
 ① taken after ② taken off ③ taken place ④ taken up

## 英語

(三枚のうち2)

III 次の [A] ~ [C] の日本語に合うように、それぞれ①~⑥の語句を用いて英文を完成させた時、空欄 ( 14 ) ~ ( 19 ) にあてはまる語句を選びなさい。

[A] 渋滞がひどいから歩いたほうが多いです。

The traffic is so heavy ( ) ( 14 ) ( ) ( ) ( 15 ) ( ).

- ① well ② might ③ as  
 ④ we ⑤ walk ⑥ that

[B] 何か質問があれば、誰にでも聞いてください。

( ) ( 16 ) ( ) ( ) ( 17 ), ( ) any one of us.

- ① have ② any ③ you  
 ④ ask ⑤ should ⑥ questions

[C] 彼女はどこへ行ってもたくさんの友達を作った。

She ( ) ( 18 ) ( ) ( ) ( 19 ) ( ).

- ① she ② friends ③ went  
 ④ wherever ⑤ many ⑥ made

IV 次の英文を読んで、設問に答えなさい。

## Teaching children how to discriminate

From a young age, stories are important for children. Children do not have much experience so they use stories to learn about the world. Therefore, (A)storytellers act as teachers that tell children what the world is like and how they should act in it. These storytellers are not only people, such as their parents, but also the media, such as books, TV and movies. The media is an especially important source of stories because it is everywhere.

Children watch a lot of TV and movies. This means they spend a lot of time watching characters and actors and seeing how they behave. This is important because children – even very young children – watch human behavior and learn that this behavior is the correct way to be in society. Therefore, the kind of media children watch will affect how children think, behave and see the world.

Through the media, children learn categorization. Categorization means learning how to put things into categories. This skill is very important because the world is very complex, so we need to put things into categories to understand them better. For example, two-year-olds cannot clearly understand that a dog is different from a cat or a horse. They will see animals with four legs, such as dogs, cats and horses, and put them into the same category. The name of this category could be "things with four legs". Therefore, two-year-olds would see all these animals as the same thing. When the children grow older, they will be able to take the animals out of this category and see them as different things: dogs, cats and horses.

In the same way that these two-year-olds put all the different animals into the same category, children see patterns in the world and then use those patterns to understand the world.

So (B)when children watch movies, they are letting the movies tell them how to categorize. For example, in movies, characters with glasses are usually smart. If children keep seeing this image, they will learn that people who have glasses should go in the "smart" category. However, at the end of the movie, children may forget that this category does not exist in real life. If we categorize people into the same group and forget that they are different, we stereotype people.

S. Sasajima, et al.: *CLIL Global Issues*

(語注) storyteller (子どもなどに) 物語を話す人、語り手  
 stereotype 固定観念でとらえる、典型的に考える

20 下線部(A)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 語り手は、世界や彼らの行動について子どもたちに教えるために、お話の中で先生役を演じる。
- ② 語り手は先生として、世界はどんなところか、彼らはその世界でどうしたらいいかを子どもたちに尋ねる。
- ③ 語り手は、世界がどんなところで子どもたちがそこでどうすべきかを、子どもたちに教える先生役を務める。
- ④ 語り手は、子どもたちに様々な事を教える先生であり、世界のありようについてや子どもたちがどのように演じるべきかを伝える。

21 下線部(B)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 子どもたちが映画を観ている時、映画は知らず知らずのうちに子どもたちに差別教育を行っている。
- ② 子どもたちが映画を観ている時に、親は映画が子どもたちに分類方法を教えることを許している。
- ③ 子どもたちが映画を観ている時に、映画を通して親は子供たちに分類方法を教えている。
- ④ 子どもたちが映画を観ている時は、映画が子どもたちに分類する方法を教えている。

22 本文の第2段落の内容に合わないものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 子どもは時間があればテレビや映画を見ている。
- ② 子どもは登場人物の振る舞い方を見ている時間が長い。
- ③ 社会での振る舞い方は、テレビのキャラクター等から学ぶ。
- ④ 子どもの考え方は、どんなメディアに触れているかで変わる。

23 本文の第3段落の内容に合うものとしてもっとも適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① カテゴリー分けができるようになることは大切だ。
- ② 世界を知るためには、カテゴリー分けが不可欠だ。
- ③ 2歳児にとっては豚も鶏も同じカテゴリーに入る。
- ④ 小学生になると犬と猫と馬を見分けられるようになる。

24 25 本文の内容と合っているものを、①～⑥の中から二つ選びなさい。(順不同)

- ① 経験が浅い子どもたちは、物語から多くを学ぶ。
- ② マンガやビデオゲームなども物語になり得る。
- ③ 2歳児は、「4本足のもの」というカテゴリー分けをしているかもしれない。
- ④ 世界のあらゆるものには、必ずパターンが存在する。
- ⑤ メガネをかけている人々は大抵賢い。
- ⑥ 人はみな違うので固定観念でとらえるのは良くない。

化 学  
(解答番号は  ～  である)

◆ 次の問い（問1～問6）に答えなさい。

問1 一種類の物質からなる物質を純物質といい、2種類以上の純物質が不特定の割合で混じりあって存在している物質を混合物という。語群①～⑥の物質を純物質と混合物に分類しなさい。  ～

純物質 -----     
混合物 -----

【語 群】

① 空気    ② 酸素    ③ 硫黄  
④ 海水    ⑤ ヘリウム    ⑥ チョコレート

問2 下記に示した法則1～5を提唱した人物名を語群から選びなさい。

～

1. 密閉容器中で空気と共にスズを熱する実験から質量保存の法則を発見した。
2. 多くの化合物を分析して定比例の法則を発見した。
3. 倍数比例の法則を発表し、また原子説を提唱した。
4. 気体反応では、反応前と反応後に生成した気体の体積間に、整数比が成り立つ。
5. 電気分解で流れる電気量と変化する物質量との関係や電気分解の法則を提唱した。

【語 群】

① ボイル    ② ゲーリュサック    ③ プルースト  
④ ラボアジエ    ⑤ ファラデー    ⑥ パスツール    ⑦ ドルトン

問4 物質に含まれている元素の性質を調べるときにその元素を含んだ水溶液を炎の中に入れると、それぞれの元素特有の色を示す。この反応を炎色反応という。それぞれの色の元素は何か適切なものを元素群から選びなさい。  ～

|    |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |                                 |
|----|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|---------------------------------|
| 元素 | <input type="text" value="22"/> | <input type="text" value="23"/> | <input type="text" value="24"/> | <input type="text" value="25"/> | <input type="text" value="26"/> | <input type="text" value="27"/> |
| 色  | 黄                               | 青緑                              | 赤紫                              | 赤                               | 黄緑                              | 橙赤                              |

【元素群】

① 銅    ② バリウム    ③ カルシウム    ④ リチウム  
⑤ ストロンチウム    ⑥ ナトリウム    ⑦ カリウム

問5 下記の文章の空欄に語群より適語を選び、完成せよ。  ～

市販されているカイロは、鉄の  反応で生じる  を利用している。鉄粉に  として  などを加えて鉄の  速度を大きくすることで、  反応を起こしやすくしている。

【語 群】

① 発熱    ② 吸熱    ③ 酸化    ④ 還元  
⑤ 触媒    ⑥ 活性炭    ⑦ でんぷん

問3 化学結合に関する問題である。適切なものを語群から選びなさい。

～

| 化学結合                            | 結合の仕組み                                                      | 物質名                             |
|---------------------------------|-------------------------------------------------------------|---------------------------------|
| <input type="text" value="12"/> | 2原子間で、一方の原子の非共有電子対を共有する。                                    | <input type="text" value="13"/> |
| <input type="text" value="14"/> | 2個の原子の間で、それぞれの原子の価電子をたがいに共有してできる結合である。                      | <input type="text" value="15"/> |
| <input type="text" value="16"/> | 陽イオンと陰イオンとが、静電気力によって引き合っている結合である。                           | <input type="text" value="17"/> |
| <input type="text" value="18"/> | 分子の中のわずかな正の電気を帯びたH原子が、他の分子の負の電荷を帯びた電子と、静電力的な力で引き合ってきた結合である。 | <input type="text" value="19"/> |
| <input type="text" value="20"/> | 自由電子による結合である。                                               | <input type="text" value="21"/> |

【化学結合の種類】

① イオン結合    ② 水素結合    ③ 金属結合  
④ 配位結合    ⑤ 共有結合    ⑥ ファンデルワールス結合

【物質名】

①  $\text{NH}_4\text{Cl}$     ②  $\text{NaCl}$     ③  $\text{H}_2$     ④  $\text{Fe}$   
⑤  $\text{HF}$     ⑥ 黒鉛の平面同士の結合

問6 次のa)～f)の計算を行い、それぞれ正確な数値を選びなさい。

～

原子量は、 $\text{H}=1$   $\text{C}=12$   $\text{N}=14$   $\text{O}=16$   $\text{Na}=23$   $\text{S}=32$   $\text{Cl}=35$  を用いなさい。

a) 塩化ナトリウム 25g を水 100g に加えて水溶液を作成した。この溶液の質量パーセント濃度を求めなさい。

① 0.2%    ② 20%    ③ 0.25%    ④ 25%

b) 水 500mL に塩化ナトリウム 58g を溶かした時のモル濃度を求めなさい。

① 1 mol/L    ② 0.1 mol/L    ③ 2 mol/L    ④ 0.2 mol/L

c) 標準状態での  $\text{CO}_2$  が 88g のときの体積を求めなさい。

① 1 L    ② 2 L    ③ 22.4 L    ④ 44.8 L

d) ある濃度の硫酸 ( $\text{H}_2\text{SO}_4$ ) 20mL を過不足なく中和するために、0.5mol/L の水酸化ナトリウム ( $\text{NaOH}$ ) 水溶液を 4.3mL 使用した。このときの硫酸の濃度を求めなさい。

① 1.075 mol/L    ② 0.108 mol/L    ③ 0.054 mol/L    ④ 0.001 mol/L

e) 27℃において圧力  $2 \times 10^5 \text{ Pa}$  で体積 2.0L の気体を、87℃において圧力  $4 \times 10^5 \text{ Pa}$  にする。この場合、体積は何 L か求めなさい。

① 1.0 L    ② 1.2 L    ③ 3.2 L    ④ 27.0 L

f) 溶液 250mL 中に硫酸  $\text{H}_2\text{SO}_4$  が 9.8g 溶解している場合のモル濃度  と規定濃度  を求めなさい。

① 1 mol/L    ② 4 mol/L    ③ 0.1 mol/L    ④ 0.4 mol/L  
⑤ 1 N    ⑥ 2 N    ⑦ 0.2 N    ⑧ 0.8 N

## 生 物

(解答番号は[ 1 ] ~ [ 30 ]である)

◆ 次の問い(問1~問30)に答えなさい。

問1 次の文章の a~d に入る人名の組み合わせで、正しいものを①~④から選びさい。 [ 1 ]

イギリスの[ a ]による細胞の発見以来、細胞に関する研究が進んだ。19世紀には植物の細胞は[ b ]、動物の細胞は[ c ]が「生物体の構造と働きの基本単位は細胞である」という細胞説を唱えた。その後、さらに細胞の形成は「細胞は細胞から分裂によって生じる」と[ d ]が提唱した。

- ① a シュライデン b フック c シュワン d フィルヒョー  
② a シュワン b フィルヒョー c フック d シュライデン  
③ a シュワン b フィルヒョー c シュライデン d フック  
④ a フック b シュライデン c シュワン d フィルヒョー

問2 細胞内のミトコンドリアのはたらきを一つ選びなさい。 [ 2 ]

- ① 細胞内消化や不要物の分解  
② 細胞内外の物質の出入りを調節している。  
③ 光合成を行い、有機物を合成する。  
④ 呼吸によって有機物を分解してエネルギーを調達する。

問3 細胞内でタンパク質を合成する小器官を一つ選びなさい。 [ 3 ]

- ① ゴルジ体 ② リボソーム ③ リソソーム ④ 小胞体

問4 細胞内で細胞内消化や不要物の分解をする小器官を一つ選びなさい。 [ 4 ]

- ① ゴルジ体 ② リボソーム ③ リソソーム ④ 小胞体

問5 動物細胞にはないものを一つ選びなさい。 [ 5 ]

- ① 細胞膜 ② ミトコンドリア ③ 葉緑素 ④ 核膜

問13 問12の代表的なものを一つ選びなさい。 [ 13 ]

- ① 光合成 ② 呼吸 ③ 異化 ④ 同化

問14 問11の化学反応で、単純な物質から複雑な物質を合成し、エネルギーを必要とする過程を何というか。適切なものを一つ選びなさい。 [ 14 ]

- ① 同化 ② 異化 ③ 呼吸 ④ 光合成

問15 エネルギーの通貨ともいわれ、一般的な細胞内での代謝によるエネルギーのやり取りに用いられる物質はどれか。適切なものを一つ選びなさい。 [ 15 ]

- ① 酸素 ② 発酵 ③ DNA ④ ATP

問16 細胞内で酸素を利用して有機物を分解することで得られたエネルギーで ATP を合成することを何というか。適切なものを一つ選びなさい。 [ 16 ]

- ① 呼吸 ② 異化 ③ 同化 ④ 発酵

問17 細胞質基質において1分子のグルコースから2分子のピルビン酸に分解される過程で、NADHが生成されて2分子のATPが合成される。これを何というか一つ選びなさい。 [ 17 ]

- ① クエン酸回路 ② 光合成 ③ 電子伝達系 ④ 解糖系

問18 ミトコンドリア内にピルビン酸が取り込まれ、酵素によって分解され二酸化炭素とNADHが生成され、ATPが合成される。これを何というか一つ選びなさい。 [ 18 ]

- ① クエン酸回路 ② 光合成 ③ 電子伝達系 ④ 解糖系

問19 ミトコンドリア内膜で行われる反応で、水や大量のATPが生産される。これを何というか一つ選びなさい。 [ 19 ]

- ① クエン酸回路 ② 光合成 ③ 電子伝達系 ④ 解糖系

問6 動物細胞を構成する化学成分を、多い順番に並べなさい。 [ 6 ]

- ① 水>炭水化物>タンパク質>脂質>核酸>無機塩類>その他  
② 水>タンパク質>核酸>その他>脂質>炭水化物>無機塩類  
③ 水>タンパク質>脂質>その他>炭水化物>無機塩類>核酸  
④ タンパク質>炭水化物>脂質>核酸>無機塩類>その他>水

問7 大腸菌を構成する化学成分を、多い順番に並べなさい。 [ 7 ]

- ① 水>炭水化物>タンパク質>脂質>核酸>無機塩類>その他  
② 水>タンパク質>核酸>その他>脂質>炭水化物>無機塩類  
③ 水>タンパク質>脂質>その他>炭水化物>無機塩類>核酸  
④ タンパク質>炭水化物>脂質>核酸>無機塩類>その他>水

問8 DNAを構成する塩基のうち不適切なものを一つ選びなさい。 [ 8 ]

- ① アデニン ② ウラシル ③ グアニン ④ シトシン ⑤ チミン

問9 RNAを構成する塩基のうち不適切なものを一つ選びなさい。 [ 9 ]

- ① アデニン ② ウラシル ③ グアニン ④ シトシン ⑤ チミン

問10 タンパク質はDNAの遺伝情報を基に合成される。遺伝情報はmRNAに転写され翻訳される。翻訳ではmRNA塩基の配列によってタンパク質の性質を決めている。アミノ酸の種類は約20種類であるが、1個の塩基に1個のアミノ酸が指定されるとすると、指定されるアミノ酸は4種類となる。連続した3個の塩基が1個のアミノ酸を指定する場合、指定できるアミノ酸は何種類ですか。 [ 10 ]

- ① 3種類 ② 12種類 ③ 20種類 ④ 64種類

問11 生物は体外から取り入れた物質を種々の化学反応によって他の物質に作り変えて利用している。これら生体内での化学反応全体を何というか一つ選びなさい。 [ 11 ]

- ① 光合成 ② 代謝 ③ 消化 ④ 光リン酸化

問12 問11の化学反応で、複雑な物質を単純な物質に分解し、エネルギーを取り出す過程を何というか一つ選びなさい。 [ 12 ]

- ① 同化 ② 異化 ③ 光合成 ④ 呼吸

問20 微生物を利用した発酵食品ではないものを一つ選びなさい。 [ 20 ]

- ① 牛乳にヨーグルトを加えて45℃で5時間保存するとヨーグルトができる。  
② 豚肉からベーコンをつくる。  
③ 大豆を水に浸漬し、膨潤させて加熱して細かく粉碎したものに麹を加える。  
④ 大豆を水に浸漬し、膨潤させて加熱して柔らかくしたものに納豆菌を加える。

問21 バンジーの色の異なる花卉の表皮細胞を顕微鏡で観察した。これらは染色液によって染色しなくても細胞内に含まれている色素によって観察される。赤や青、紫色の花に含まれている色素は何か一つ選びなさい。 [ 21 ]

- ① カロテン ② クロロフィル ③ アントシアニン ④ リコピン

問22 ジャガイモの主成分はデンプンであるが顕微鏡で観察する場合、デンプン粒が青紫色に染色される。用いられる染色液として適切なものを一つ選びなさい。 [ 22 ]

- ① 酢酸オルセイン ② エオシン ③ メチルオレンジ ④ ヨウ素溶液

問23 ヒトの1個の体細胞に含まれているDNAの長さは約2mで、約60億の塩基対が含まれている。ヒトは46本の染色体がある。染色体1本に含まれるDNAの平均の長さとして適切なものを一つ選びなさい。 [ 23 ]

- ① 約40cm ② 約4cm ③ 約0.4cm ④ 約0.04cm

問24 生物が個体の形成や生命活動を営むための遺伝情報をゲノムという。ヒトのゲノムの塩基対数として、適切なものを一つ選びなさい。 [ 24 ]

- ① 460万 ② 1300万 ③ 1億8000万 ④ 30億

問25 赤血球を食塩水に入れたとき食塩水の濃度によって膨張や収縮、また、細胞膜が破れて内部のヘモグロビンが流出(溶血)するという赤血球の形態の変化が観察される。0.5%の食塩水中で観察されるのはどれか適切なものを一つ選びなさい。 [ 25 ]

- ① 収縮 ② 膨張 ③ 溶血 ④ 変化なし

問 26 植物の細胞は細胞膜の外側に細胞壁があり、食塩や砂糖などが溶けた水溶液を通す。細胞壁と細胞膜が離れる原形質分離という現象が起こるのはどのような水溶液中に入れた時か、適切なものを一つ選びなさい。 26

- ① 蒸留水    ② 薄い食塩水    ③ 細胞内と同じ濃度の食塩水    ④ 濃い食塩水

問 27 動物細胞と等張な食塩水を生理的食塩水という。ヒトの生理的食塩水は 0.9% であるが、カエルの生理的食塩水として適切なものを一つ選びなさい。 27

- ① 0.9%    ② 0.65%    ③ 0.8%    ④ 9%

問 28 肺循環での正しい循環を選びなさい。 28

- ① 右心室 → 肺静脈 → 肺 → 肺動脈 → 左心房  
② 右心室 → 肺動脈 → 肺 → 肺静脈 → 左心房  
③ 左心室 → 肺静脈 → 肺 → 肺動脈 → 右心房  
④ 左心室 → 肺動脈 → 肺 → 肺静脈 → 右心房

問 29 体循環での正しい循環を選びなさい。 29

- ① 左心室 → 大静脈 → 全身 → 大動脈 → 右心房  
② 左心室 → 大動脈 → 全身 → 大静脈 → 右心房  
③ 右心室 → けい動脈 → 脳 → 大静脈 → 左心房  
④ 右心室 → けい動脈 → 肺 → 大動脈 → 左心房

問 30 体内の細胞や細胞間、組織内にある液体を体液というが、体液内に含まれる主なイオンの中で最も多く含まれているイオンを選びなさい。 30

- ①  $\text{Cl}^-$     ②  $\text{Ca}^{+}$     ③  $\text{Na}^{+}$     ④  $\text{K}^{+}$

国語(現代文)

(五枚のうち1)

問題

次の a ~ e の文の空欄に入る最も適切な語を、後の ① ~ ⑤の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号

は a ① 1, b ② 2, c ③ 3, d ④ 4, e ⑤ 5。

- a このようになり落ちぶれたのは、独りよがりな運営を続けたことと当然の（ ）である
- b 一人の犠牲者を出すこともなく、新型コロナウイルスの感染を（ ）した
- c 現役継続を望む彼の意向を汲んで、チームは三年間の選手契約を（ ）した
- d ダム建設に伴う補償交渉は、一年かかってやっと（ ）した
- e 子会社の経営改善が功を奏し、今年度の（ ）決算は赤字に転換した

- |    |    |
|----|----|
| ⑥  | ①  |
| 帛結 | 妥結 |
| ⑦  | ②  |
| 終結 | 水結 |
| ⑧  | ③  |
| 集結 | 凍結 |
| ⑨  | ④  |
| 凝結 | 連結 |
| ⑩  | ⑤  |
| 締結 | 團結 |

問

一次の a, e の空欄には慣用句を構成する語が入る。それぞれの最も適当なものを、後の①～⑩の中から一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a, ⑥, b, ⑦, c, ⑧, d, ⑨, e, ⑩。

- a ( ) がいい話だが、あちは断つてこちらだけ継続してもうえなないか頼んでみよう
- b 目を ( ) にして探しても何も見付からなかった。
- c 彼は最初からこの会社には ( ) を埋めるつもりなどさらさらなかった。
- d 彼女が嫁いだと聞いて、私は身も ( ) もなく泣きくらした。
- e 光悦の芸術術が出来るまでの屢考では、山賊たちが ( ) を利かしていた。

- |   |   |
|---|---|
| ⑥ | ① |
| 蓋 | 顏 |
| ⑦ | ② |
| 世 | 幅 |
| ⑧ | ③ |
| 外 | 雲 |
| ⑨ | ④ |
| 血 | 骨 |
| ⑩ | ⑤ |
| 皿 | 中 |

## 三三

二  
 AさんがBさんを案内したということ、CさんがDさんに言ったとして、次のa～eの言い方では、それぞれ誰から誰への敬意が示されているか。後々の①～④の説明の中からそれぞれ最も適当なものを選び、その記号を答えよ。解答番号はa～e。

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 11 | 12 | 13 | 14 | 15 |
|----|----|----|----|----|

- a 御案内した。  
b 御案内なされた。  
c 御案内しました。  
d 御案内なさいました。  
e 御案内いたしました。
- ① CからAへ  
② CからBへ  
③ CからDへ  
④ CからAとBへ  
⑤ CからAとDへ  
⑥ CからBとDへ  
⑦ CからAとBとDへ  
⑧ CからBとDへ (Dへは二重に)  
⑨ CからDへ二重に  
⑩ CからDへ二重に

一般・国語（現代文）

(五枚のうち2)

問四

四 次の文中の空欄 a ~ e に入る最も適切な語を、後の① ~ ⑩の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は a ~ e の記号の空欄には同一の語が入る。

|    |   |
|----|---|
| 16 | a |
| 17 | b |
| 18 | c |
| 19 | d |
| 20 | e |

京都府と京都市などが長年求めている文化庁の京都誘致が実現するか、年末にヤマ場を迎える。文化庁を含めた政府機関の移転は、政府自らが東京（a）集中是正（b）垂範することになるだけに、安倍政権が重要政策に掲げる「地方創生」の本気度を示す試金石となる。ただ、省庁間の抵抗姿勢が漏れ聞こえてくる中、実現には府や市を含めた地方側の知恵と工夫も問われそうだ。

府の山田啓一知事は今日(二)日、全国知事会会長として菅野郎で安倍晋三首相から政府首脳と会談した際、「積極的なリーダーシップで東京( a )集中は正の大きな実を示してほしい」と強調した。地方創生の( c )で、政府が地方自治体へに政府機関の移転提案を求めながら、省庁側の消極姿勢があらわになってきたからだ。

府中市、京都市、京都商工会議所は8月末、文化庁と（d）する3独立行政法人に関する京都市内への誘致を政府に提案した。これに対し、「文化庁と同行を外局とする文部科学省の職員は、複数の京都選出国会議員に、国会答弁と文書が出るなど」という全面移転には（e）を示したという。（『京都新聞』平成二十七年十月二十八日の記事に拠る。）

（『京都新聞』平成二十七年十月二十八日の記事に拠る。）

- |   |    |   |    |   |    |   |    |   |    |
|---|----|---|----|---|----|---|----|---|----|
| ① | 難色 | ② | 協調 | ③ | 一環 | ④ | 一極 | ⑤ | 不恰 |
| ⑥ | 所管 | ⑦ | 率先 | ⑧ | 否定 | ⑨ | 比定 | ⑩ | 平行 |

問題二 次の文章を読み後ろの設問に答えよ。

ホッブズは「社会契約論」の哲学者としてよく知られている。だが、その政治哲学において重要なのは、当初から延々と批判が続けてきた社会契約の理論論議のものよりも、契約理論の基礎として提言された「自然状態」の理論である。というのも、自然状態論こそが、彼の政治理論に圧倒的なリアリティを付与しているからだ。

自然状態とは何か、これはいかなる決まりも、いかなる権威もない状態。人間が素のままで自然の中に放り込まれているという状態のことである。一七世紀にはそのような自然状態が盛んに唱えられた。これは、それまで長きにわたって維持されてきた社会秩序が宗教戦争によって崩壊したことの一つの帰結であろう。社会秩序が崩壊したからといって、それが始まる以前の状態が変わらず維持された<sup>a</sup>。その発生の根拠を問うという作業が盛んに行われるようになったのだ。

ホップズが自然状態について最初に指摘するのは、人間の平等である。ただし注意が必要である。これは、「人間には平等な権利がある」とか「人間は差別なく等しく扱われねばならない」といった意味で言われているのではない。そうではなくて、「人間など、どれもたいてい変わらない」ということだ。

確かに他の者よりも腕力強い人間もいる。少し頭のいい奴もいる。しかしホップズによれば、そうした連人も、数人が集まればなんとかなる程度の強い人間であらうと、数人で立ち向かえば何とかなる。たとえ寝たきりであらうとも、誰かに依頼して、ある人物をやり込めることが可能だ。人間の能力の差異などは相対的なものに過ぎない。いわゆる「どんぐりの背比べ」ということである。

このような能力の平等はいかなる帰結をもたらすか？ これは実にすぐれた表現であると思われるのだが、ホプブズはここから「希望の平等 equality of hope」が生じると述べる。「能力のこの平等から、我々の目的を達成することについての、希望の平等が生まれる」。希望の平等とは「b」という感覚のことである。

能力が平等だからこそ、自分も他人と同じように物事を希望してよいはずだと考える。何を希望するのかも平等である、と能力の平等はこうして希望の平等を生み出す。逆に言えば、能力が不平等であるならば、希望の平等は生じない。

C

という諦めが生まれるからである。

希望の平等は、第 1 段階においては、他人に対する妬みや権利要求として現れる。つまり、  
「 」という要求として、である。しかし、第 2 段階において、それは、他者もまた自分と同じように要求するだろうという意識を生み出す。すなわち、  
「 」という感覚の発生である

自分はこんなにいいものをもっている。すると誰かもまたこれ欲しがっているかもしれない……。この気持ち、続いて何を生み出すだろうか？ 自分の持ち物が狙われているという感覚、他人を怪しみ、疑う気持ちである。それが高じれば、人は疑

心暗鬼の状態にすら陥るであろう。ホッブズは、*homo homini lupus*（人は人にとってオオカミである）というラテン語の格言を引用しているが、まさにそれが常態化する、相互不信の常態化である。

では、人は「f」と「f」と想った時にどうするのだろうか？ もちろん、やられる前にやる、である。何もせずにいれば、自分はいつ他人の攻撃を受けるかも分からない。今、自然状態が前提になっていることを忘れてはならない。自分の力以外に頼れるものなど何もないのだ。そのような気持ちが出てくるのは当然のことである。

とはいえ、人間は能力において平等であって、その力には大差がないのだった。やられる前にやると言つても、相手を圧倒できる保証などない。ならばどうするか？ 徒党を組むしかない。「この相互不信から自己を安全にしておくには、誰にとつても、先手を打つことほど妥当な方法はない。それは、自分を脅かすほどの大きな力を他に見ることがないように、<sup>④</sup>強力または奸計によつて、できる限りのすべての人の人格を、できるだけ長く支配することである」。先手を打つて、自分たちを攻撃しそうな人物、あるいは集団を攻撃し、支配するのである。

かくして、自然状態においては絶対に争いが避けられないという結論が導きだされる。ホッブズはこのことを指して、自然状態は戦争状態であると述べた。自然状態においては人は争っている。ホッブズは政治哲学の出発点に戦争をおき、戦争から政治を考えた哲学者である。

さて、集団は仲間を増やした方が強いわけだから、どの集団も併合を繰り返し、集団の数は減少していくことになる。すると一定規模の集団が形成された段階で、集団同士の均衡が生まれるに違いない。すなわち、<sup>h</sup>ドンパチという意味での争いの沈静化である。

これは一見すると戦争状態の終結のようにも思えるが、ホッブズによればそうではない。ホッブズの言う戦争状態とは、相互不信が蔓延していつでも戦闘が起こりうる、戦争が潜在的な危機として存在し続けている、そのような状態を指す。「戦争は、単に戦あるいは闘争行為にあるのではなく、戦闘によつて争おうという意志が十分に知られている一連の時間にある」。したがって、集団同士の緊張感を持ったらみ合いがもたらす束の間の平穏は、戦争状態からの脱出を意味しない。実際、いつでもドンパチが起こりうるからである。

ホッブズの自然状態論が興味深いのは、平等の事実に争いの根源を見ているところだ。能力が不平等であれば、争いは起こらない。誰が誰に従うべきかが決まっているし、何を希望してよくて、何を希望してはいけないのかもあらかじめ分かっているからである。

能力の平等が希望の平等を生み、希望の平等は争いを生む。争いは集団相互のにらみ合いに至り、ひとまずのところ終息するが、それは戦争状態の終わりではない。ホッブズはこれから、自然状態を根本的に脱却する策を論じることになるのだが、その途中で、近代政治哲学が発明した極めて重要な概念が登場する。それが自然権の概念である。

自然権とは何か？ その定義を見てみよう。

「自然の権利 (Right of Nature)……著作家たちはこれを一般に自然権 (Us Natural) と呼んでいる……とは、各人が、自分自身の自然すなわち生命を維持するために、自分の力を自分自身が欲するように用いるよう各人が持っている自由であり、したがって、それは、自分自身の判断と理性において、そのために最も適当な手段であると考えられるいかなることをも行う自由である」。

ごく簡単に言えば、自分の力を自分のために好き勝手に用いる自由ということである。普段、我々は社会の中で様々な規制を受けている。特に法律による規制は強力である（それを犯せば罰せられる。最悪の場合は、死をも覚悟せねばならない）。だが、自然状態においてはそうした規制が全く存在しない。というか、そういう規制が全く存在しない状態として定義されるのが自然状態である。

ならば、人は自然状態において、自分の思うがままに振る舞うことができる。やろうと思えば何でもできるのだから。そうした自由が「自然権」と呼ばれている。

「自然権」すなわち「自然な権利」とは、実は、「とても奇妙な概念である。権利とは何だろうか？ どこかある国に住んでいると、多くの場合、いくつかの権利が認められる。そう、権利とは何かによつて認められるものであり、そうやって認められた資格や許可のことに他ならない。国民に教育を受ける権利があるとすれば、それはたとえばその国の憲法が国民にそうした権利を認めているからである。

ところが、自然状態とは、そうした国や憲法や政府や法律、とにかく一切の上位機関が存在しない状態である。すなわち、権利を認めるような上位機関が存在しないというのが自然状態なのだ。したがって「自然権」とは、権利が認められないような状態を設定した上で、それにもかかわらず発見される逆説的な権利なのである。

この逆説をどう理解したらよいだろうか？ 理解のポイントとは「権利」という言葉にある。この言葉を上位機関から与えられる資格や許可という意味で捉える限り、自然権を理解することはできない。そもそも自然権とは、好きなことを好きなようになにする自由のことであった。そしてこの自由は、もちろん、自然状態を根拠としている。自然状態にあつて、いかなる規制も存

在しないがゆえに、人はホッブズの言うような意味で自由たりうる。

したがって自然権という際の「権利」とは、その語感が与える印象とは異なり、一つの事実を指していることが分かる。自然状態において、人は単に自由であつて何でもしたいことができる。その自由という事実そのものを自然権と呼ぶのである。

このように複雑な概念はまさに哲学によつてこそ生み出されるものであろう。自然権の発見こそは、一七世紀の政治哲学が為した偉大な概念の創造である。

とはいえ、なぜこのような複雑な概念が必要になるのだろうか？ なぜ事実として人間は自由であることが権利として確認されねばならないのか？ それは、この権利を規制することで国家が創設されるという理路を確立するためである。

我々は様々な規制を受け入れながら生きている、ということは、自然権が否定された状態を生きているということだ。ホッブズはその否定から理論的に溯り、「もともと何で好きなようにできる権利があつたはずだが、それを否定することによつてこそ国家は可能になる」と考えるのである。（國分功 郎『近代政治哲学』に拠る。）

問一 傍線部aの「その発生」とは、何の発生か。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 21。

- ① 自然状態論
- ② 自然状態論
- ③ 社会秩序
- ④ 社会秩序の崩壊
- ⑤ それが始まる以前の状態

問二 文中の空欄b、c、d、e、fに入るものとして最も適当なものを、次の①～⑥の中からそれぞれ一つずつ選び、その記号を答えよ。解答番号は 22、23、24、25、26。

- ① 自分は狙われているかもしれない
- ② 自分は全てを手に入れてよいはずだ
- ③ 自分があれを手にはできないのも仕方ない
- ④ 必要なものを持しては敵を作るだけだ
- ⑤ 自分もあれが欲しい。自分はいは欲してよいはずだ
- ⑥ 俺はいいものを持っているから、あいつが望むなら分けてやってもいい
- ⑦ 自分が他人を妬んでいるのだから、他人もまた自分を妬んでいるかもしれない
- ⑧ 私はたくさんいいものを持っているから、少しだけならあいつらに分けてやってもいい
- ⑨ あいつはいいものを持っている。あいつがあれを持っているのならば、俺だってあれを持っていればいいはずだ
- ⑩ あんないものはあいつには分不相応である。あれの所有者にふさわしい自分は、あれを奪つてもかまわないはずだ

問三 傍線部gの「強力または奸計によつて」とはどういう意味か。次の①～⑥の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 27。

- ① 力を合わせることも知恵を集めることで
- ② 結果した力かするがしこい計略で
- ③ 集団の力か抜け目のない策略で
- ④ 他を脅かすほどの大きな力が優れた戦略で
- ⑤ 圧倒的な力か悪だくみで

問四

傍線部hに「ドンパチという意味での争い」とあるが、これとは違う意味での争いを表している文中の表現はどのようなか。次の①～⑤の中から最も適当なものを一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 28。

- ① 集団同士の均衡
- ② 潜在的な危機
- ③ 戦闘あるいは闘争行為
- ④ 集団同士の緊張感を持ったにらみ合い
- ⑤ 集団同士の緊張感を持ったにらみ合いがもたらす束の間の平穏

問五

傍線部iに「とても奇妙な概念である」とあるが、「自然権」という概念のどういうところが「とても奇妙」なのか。その説明として最も適当なものを、次の①～⑤の中から一つ選び、その記号を答えよ。解答番号は 29。

- ① 権利とはある国に住むことが前提となるもののなのに、国の存在しない自然状態で認められるものであるところ
- ② 権利が認められない自然状態を設定したときに発見される権利であるところ
- ③ 自然状態における事実として人間は自由であることが権利として確認されなければならないところ
- ④ 自然状態において人は自由であつて何でもしたいことができるという事実そのものを呼ぶところ
- ⑤ 他の権利のように上位機関によって認められるのではなく、上位機関により規制されるところ

## 英 語

(三枚のうち1)

I 次の対話文の空欄 ( 1 ) ~ ( 3 ) に入れるのにもっとも適当なものを、①~④の中から一つ選びなさい。

A: Hello. Welcome to the Curry House. I'm Beth and I'll be serving you today. Let me start off with your drinks.

B: We'll all have beer.

A: Okay. ( 1 )

A: Here are your drinks. ( 2 )

B: Yes, we are. I'll have a set of pork cutlet curry and rice.

A: Okay, sir. We have mild, medium, and spicy curry. Which one would you like?

B: I'll have medium.

A: ( 3 )

B: I'll have salad.

A: Okay, how about you ma'am?

- 1 ① Who wants beer?  
② I'll be right back with your drinks.  
③ Beer tastes good.  
④ Would you like more beer?
- 2 ① Are you waiting for your menu?  
② Is everyone ready to order now?  
③ Do you know what you want?  
④ They are good and cold.
- 3 ① The curry comes with salad.  
② Today's salad is very fresh.  
③ Will you have salad?  
④ Would you like soup or salad with your meal?

II 次の 4 ~ 13 の空欄に入れるのにもっとも適当なものを、①~④の中から一つ選びなさい。

4 ( ) , I've always preferred Korean food.

- ① Generally speaking      ② Personally speaking  
③ Broadly speaking      ④ Strictly speaking

5 You ( ) in those colorful pants.

- ① look up      ② lay off      ③ pick up      ④ stand out

6 You are ( ) ping pong player as her.

- ① as a good      ② as good a      ③ a good as      ④ good as a

7 It is natural ( ) babies to cry when they are hot.

- ① to      ② that      ③ of      ④ for

8 ( ) are often said to prefer group activities.

- ① Japaneses      ② Japanese  
③ The Japanese      ④ The Japaneses

9 Do you want to go to ( ) for your graduation trip?

- ① abroad      ② overseas      ③ out of Japan      ④ a foreign country

10 By the time she ( ) here, the class will be over.

- ① get      ② gets      ③ will get      ④ getting

11 Call me when you arrive there, ( ) the time is.

- ① in spite of      ② in favor of      ③ irrespective of      ④ no matter what

12 He ( ) in an argument between his parents.

- ① denied      ② interfered      ③ prohibited      ④ scratched

13 I wish we ( ) a bigger house to have a BBQ.

- ① own      ② have owned      ③ owned      ④ will own

## 英 語

(三枚のうち2)

III 次の [A] ~ [C] の日本語に合うように、それぞれ①~⑥の語句を用いて英文を完成させた時、空欄 ( 14 ) ~ ( 19 ) にあてはまる語句を選びなさい。

[A] そんなことを言うなんて彼女はなんてうかつだったんだ。

( ) ( 14 ) ( ) ( ) ( 15 ) ( ) to say such a thing.

- ① of      ② it      ③ very  
④ was      ⑤ careless      ⑥ her

[B] 屋根が緑の家が見える。

I see a house ( ) ( 16 ) ( ) ( ) ( 17 ) ( ) .

- ① roof      ② is      ③ green  
④ which      ⑤ the      ⑥ of

[C] 君はこの教訓を心に留めておくべきだ。

You ( ) ( 18 ) ( ) ( ) ( 19 ) ( ) .

- ① in      ② lesson      ③ should  
④ mind      ⑤ bear      ⑥ this

IV 次の英文を読んで、設問に答えなさい。

Have you heard of the term "culture shock"? Culture shock describes an emotional state when a person cannot understand a foreign culture and becomes extremely depressed or angered. Culture shock has been explained as trying to play baseball with a soccer team: everyone else has different rules and different ways to reach a goal. (A) No matter how hard that person tries, it is impossible to win at soccer with a bat and ball.

This may sound slightly funny, but culture shock is anything but humorous. I have seen a grown man and a grown woman break down and get angry, storm out of a room, or burst into tears. Really! The reasons why they finally could no longer cope were such small things as being told not to eat an apple during a language class, or being unable to locate a school at a busy station. What this illustrates is that culture shock does not come from big things but rather a collection of many small ones which finally are "the straw that breaks the camel's back."

How can culture shock be prevented? There's no easy answer, but from my experience I have learned a few ways. First, as stated above, don't just think of the big differences. Little things are annoying but they must be put into perspective. Second, keep a sense of humor. When things "get out of hand," step back and just smile. Once, when I was teaching a group of 35 children and they were getting really wild. I just started them all singing a song and then laughed at the absurdness of one teacher trying to entertain 35 children around a table, using a language they could not understand. Next, don't be surprised when the shock happens. Living in a foreign country is never predictable: no one can say exactly what will happen.

This, however, is part of the excitement of residing abroad. It is also important to keep your interest in the new culture. Imagine how boring life would be if you ate the same food every day; in a foreign culture, there will always be new tastes and styles. Moreover, remember that culture-to-culture dealings are really person-to-person encounters. (B) Even within a large bureaucracy, you are meeting some person who also has feelings and a desire to be liked or respected.

The last piece of advice on living in a foreign culture is a sweet one: wherever you go, you can make friends if you try. I am convinced that I could go to any country and find someone whose personality would match mine, and we would be friends even before we started sharing our deepest thoughts. This has happened to me: I wish it for you, too.

Plagens & Nakamura: *It's Not What You Think*

(語注) break down 取り乱す      storm out 怒って出ていく      burst into 突然~になる

straw that breaks the camel's back (悪いことが度々重なると) 破局のもとになるちよつとした小さなこと    get out of hand 手に負えなくなる    absurdness 滑稽さ、ばかばかしさ  
reside 住む    bureaucracy 官僚制度

20 下線部(A)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 大事な人は人がどのくらい一生懸命に行くかということで、バットとボールでサッカーに勝てるかということではない。
- ② 人がどのくらい頑張っているかということではなく、バットとボールを使ってサッカーの試合に勝つことは不可能であるということだ。
- ③ バットとボールを使ってどうやって一生懸命すればいいのかわからないので、サッカーに勝つことは難しい。
- ④ たとえその人がどんなに一生懸命に頑張っても、バットとボールを使いサッカーで勝つことは不可能だ。

21 下線部(B)の訳として適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 大きな官僚制度内では、感情を持つ人、願望を抱く人、好かれたい人、尊敬されたい人など様々な人に出会う。
- ② 大きな官僚制度内でさえ、好かれたい、尊敬されたいという感情や願望を持つ人に出会う。
- ③ 大きな官僚制度内で出会う人々は、感情も持っていて、好かれたい、尊敬されたいと願う。
- ④ 大きな官僚制度内でさえ、感情を持っている人に出会うこともあり、好かれたい、尊敬されたいと願う人に出会うこともある。

22 本文の第2段落の内容に合わないものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 大人が怒って部屋から出て行ったり、急に泣き出したりするのを見たことがある。
- ② 授業中にリンゴを食べないように注意されたことがひきがねとなった。
- ③ 電車の駅は大きくて人が多いので、外国人が目的地にたどり着くのは難しい。
- ④ 小さなことが積み積みってカルチャーショックになる。

23 本文の第3段落の内容に合うものとしてもっとも適当なものを、①～④の中から一つ選びなさい。

- ① 異文化に違いはつきものなので、そこは目をつぶるべきである。
- ② ユーモアがあればカルチャーショックにはならない。
- ③ 外国語で35人の子どもたちを楽しませようとしたことがある。
- ④ 厳密に何が起るかは予測不可能だが、少しは考えておくべきである。

24 25 本文の内容と合っているものを、①～⑥の中から二つ選びなさい。(順不同)

- ① 外国の文化を理解できないとカルチャーショックになる。
- ② カルチャーショックとは、サッカーチームと野球をするようなものである。
- ③ 外国に住むならカルチャーショックを受けてみるべきである。
- ④ 外国人は珍しいので現地人とすぐに友だちになれる。
- ⑤ どんな国へ行っても自分の性格に合う人はいると思う。
- ⑥ カルチャーショックは有害あって一利なしである。

化 学

(解答番号は1 ～ 40である)

◆ 次の問い(問1～問7)に答えなさい。

問1 語群Aより適切な語句を選び番号で答えなさい。 1 ～ 6

同一元素の原子で 1 の数が異なる原子を 2 という。炭素は原子番号が6で、質量数が12、13、14と異なる原子同士をいう。炭素14の原子核は不安定で 3 を放出して、別の原子核に変化する 4 である。  
原子核が 3 を出して他の原子に変化することを 5 という。原子核が自然に 3 を出して元の原子核の数が半分になるまでの時間のことを 6 という。 6 は原子によって決まっていて炭素14は、5730年である。考古学では、化石や遺跡の年代をこの性質を利用して調べている。

- 【語群A】
- ① 電子      ② 中性子      ③ 崩壊      ④ 分解
  - ⑤ 同位体    ⑥ 放射線    ⑦ 紫外線    ⑧ 半減期
  - ⑨ 放射性同位体    ⑩ 半導体

問2 語群Bより適切な数値を選びなさい。 7 ～ 8

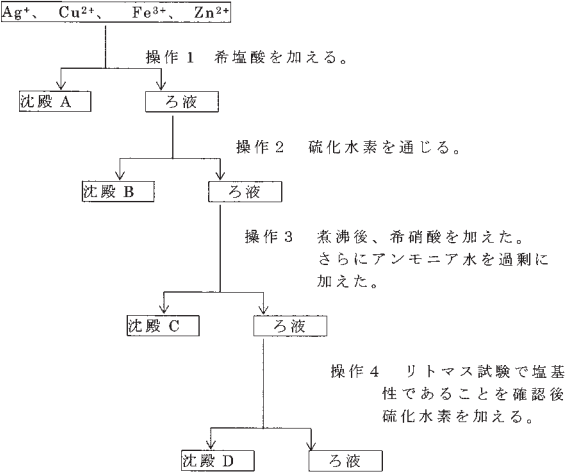
遺跡から動物の骨と木が発掘された。その骨の中の炭素14の割合は大気中の1/4含まれ、木は1/8であった。この時、遺跡から発見された動物の骨は何年前に生存していたのか答えなさい。 7  
また、木は何年前のものか答えなさい。 8

- 【語群B】
- ① 2865      ② 11460      ③ 17190      ④ 22920

(e) セロハンのような半透膜を通過できないという性質をもつ。  
この操作を 22 という。

- 【語群B】
- ① 分散コロイド    ② 会合コロイド    ③ 電気泳動
  - ④ ミセル    ⑤ ブラウン    ⑥ チンダル    ⑦ 塩析
  - ⑧ 透析    ⑨ 凝析    ⑩ フィードバック

問4  $\text{Ag}^+$ 、 $\text{Cu}^{2+}$ 、 $\text{Fe}^{3+}$ 、 $\text{Zn}^{2+}$ の4種類を含む水溶液中に下記の試薬を加え、各イオンを分離した。それぞれの操作で生じた沈殿物の化学式と色を語群より選びなさい。 23 ～ 30



問3 次の文章を読み、答えなさい。 9 ～ 22

(1) 語群Aより適切な語句を選びなさい。

塩が水に溶けている場合を溶液といい、溶媒の水に塩が均一に混ざっている。この時、溶質の $\text{Na}^+$ と $\text{Cl}^-$ は溶媒である水中の $\text{O}^{2-}$ や $\text{H}^+$ に引き付けられている 9 という状態である。 $\text{Na}^+$ と $\text{Cl}^-$ の粒子の大きさは 10 である。粒子の大きさが 11 のものをコロイド粒子という。この粒子が水溶液中に分散しているものがコロイド溶液で、 12 である。  
たとえば、生卵は 13 であるが、ゆで卵は 14 である。タンパク質やデンプンの水溶液に溶かすとコロイド粒子となり、コロイド溶液となる。ここに多量の電解質を加えると沈殿物が生じる 15。このようなコロイドを 15 という。コロイド粒子が分散媒中の分子の熱運動によって衝突するので 16 運動をする 17。また、コロイド溶液の側面に光を当てると光路が観察できる 18。この性質を利用したのが 17 である。コロイド粒子は、電流を流すと、帯電しているので移動 19 し、セロハンのような半透膜を通過できないという性質 20 がある。

- 【語群A】(複数回使用可)
- ① ゾル    ② ゲル    ③ 位相差型顕微鏡    ④ 限外顕微鏡
  - ⑤ 親水コロイド    ⑥ 水和    ⑦ 不規則な    ⑧ 規則的な
  - ⑨  $10^{-10} \sim 10^{-9}\text{m}$     ⑩  $10^{-9} \sim 10^{-7}\text{m}$

(2) 文中の(a)～(e)について適切なものを語群Bより選びなさい。

- (a) このコロイド溶液中に多量の電解質を加えると沈殿物が生じる。これを 18 という。
- (b) コロイド粒子が分散媒中の分子の熱運動によって衝突する。これを 19 運動という。
- (c) コロイド溶液の側面に光を当てると光路が観察できる。この性質を 20 現象という。
- (d) コロイド溶液に電流を流すと、帯電しているので移動する。この現象を 21 という。

| 沈殿物 | 化合物 | 化合物の色 |
|-----|-----|-------|
| 沈殿A | 23  | 27    |
| 沈殿B | 24  | 28    |
| 沈殿C | 25  | 29    |
| 沈殿D | 26  | 30    |

- 【化合物の語群】
- ①  $\text{CaCO}_3$     ②  $\text{Ag}_2\text{O}$     ③  $\text{Cu}(\text{OH})_2$     ④  $\text{ZnS}$
  - ⑤  $\text{AgCl}$     ⑥  $\text{CuS}$     ⑦  $\text{Fe}(\text{OH})_2$     ⑧  $\text{Fe}(\text{OH})_3$

- 【化合物の色】(複数回使用可)
- ① 黄色    ② 白色    ③ 赤褐色    ④ 緑色    ⑤ 青色    ⑥ 黒色

問 5 次の文章を読み、適切な語句を語群から選びなさい。

31 ～ 38

タンパク質はアミノ酸が多数結合した高分子化合物である<sup>a)</sup>。アミノ酸は主として C、H、O、N で構成されている<sup>b)</sup>。分子内にはアミノ基とカルボキシ基をもち、アミノ酸の種類は約 31 種類ある。pH が酸性側では 32、塩基性側では 33 となり、正と負の両方を持つ 34 という状態では分子内塩を作っている。このアミノ酸は、35 である。中性付近で双性イオンが多く存在する pH を 36 という。

【語 群】

- ① 等電点    ② 双性イオン    ③ 両性電解質    ④ 20  
⑤ 30    ⑥ H<sup>+</sup>    ⑦ -COO<sup>-</sup>    ⑧ -NH<sub>3</sub><sup>+</sup>

a) タンパク質は、α - アミノ酸が結合したものである。  
この結合を何というか適切なものを一つ選んで答えなさい。

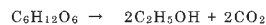
37

- ① グリコシド結合    ② ペプチド結合  
③ エステル結合    ④ イオン結合

b) アミノ酸には C、H、O、N 以外の元素をもつものもある。  
その元素はどれか適切なものを一つ選んで答えなさい。

- ① Mg    ② P    ③ Fe    ④ S

問 6 次の化学反応式はエタノール発酵である。



グルコース 6kg から生じるエタノール質量は約 39 kg である。  
適切な数値を次の ①～⑥のうちから一つ選びなさい。

ただし、反応物はグルコースのみで、生成物はエタノールと二酸化炭素とする。

- ① 2.6    ② 2.9    ③ 3.1    ④ 3.3    ⑤ 4.1    ⑥ 4.5

問 7 自動車が 100 km 走行し、10.0 L の燃料が消費されたときに生じる二酸化炭素は、1 km あたりに平均すると約 40 g である。

適切な数値を次の ①～⑥のうちから一つ選びなさい。

この時燃料は完全燃焼したものとし、燃料に含まれる炭素の質量の割合は 80% で、燃料の密度を 0.8 g/cm<sup>3</sup> とする。

- ① 16    ② 45    ③ 80    ④ 125    ⑤ 235    ⑥ 360

質量数は C = 12、H = 1、O = 16 を用いなさい。

## 生 物

(解答番号は 1 ～ 38 である)

◆ 次の問い (問1～問3) に答えなさい。

問1 次の問いに語群から適切なものを選びなさい。

(1) 顕微鏡の使い方について下記の文中に適切な言葉を語群 A より選びなさい。 1 ～ 8

- a) 顕微鏡の持ち運びはアームと鏡台を持って、直接日光の当たらない明るい場所に置く。  
 b) レンズは 1 を先に取り付け、次に 2 を取り付ける。  
 c) レボルバーを廻して 3 にして、しぼりを開放し、1 をのぞきながら反射鏡を動かし明るくする。低倍率で観察するときは 4 を用い、400 倍以上の高倍率での観察で集光器がついていない場合は 5 を使う。  
 d) ステージ上に試料のプレパラートをのせてクリップで止める。  
 e) ピントを合わせるときは、調節ねじを 6 動かしてプレパラートと 2 を近づける。次に、1 をのぞきながら対物レンズとプレパラートが遠ざかる方向に調節ねじをまわしてピントをあわせる。  
 f) 観察に適した像を探してプレパラートを移動させる。  
 g) 鮮明な像が見えるようにしぼりを調節する。ピントが合って明確に観察される範囲を 7 といい、同倍率でしぼりをしぼると観察できる範囲が 8 なる。

【語群 A】

- ① 焦点深度 ② 広く ③ 対物レンズ ④ 接眼レンズ  
 ⑤ 最高倍率 ⑥ 最低倍率 ⑦ 平面鏡 ⑧ 凹面鏡  
 ⑨ 横から見ながら ⑩ 上から見ながら

(3) 下記の文中に適切な数値を語群 C より選びなさい。

16 ～ 19

拡大倍率は、顕微鏡の性能を表わすものであるが、微小な 2 点を細部まで正しく観察できる能力を対物レンズの分解能という。光を集める範囲を開口数といい、識別できる最小の距離を D、開口数を A とすると次式で示される。

$$A = n \sin \theta$$

$$D = \lambda / 2 A$$

(n: 試料と対物レンズの間の媒質の屈折率、 $\lambda$ : 光の波長、 $\theta$ : 対物レンズに入射する光と光軸との最大角度)

今、可視光線の波長を 400nm、開口数 A を 1 とすると D は 16  $\mu$ m となる。分解能を D とすると 10  $\mu$ m 幅で観察できる線は 17 本である。

接眼ミクロメーターで細胞の大きさを測定した。まず、接眼ミクロメーターと対物ミクロメーターをセットし、ピントを合わせた。目盛が一致する 2 か所の間には、対物ミクロメーターの目盛が 5 目盛 (1 目盛を 10  $\mu$ m とする)、接眼ミクロメーターが 40 目盛あった。次に対物ミクロメーターをはずし、細胞を観察した。このとき細胞は接眼ミクロメーター 20 目盛の長さであった。ゆえに、細胞の長さは 18  $\mu$ m である。

また、ある生物の細胞の顆粒の移動距離を同じ顕微鏡で測定した。10 秒間に 40 目盛移動した。この細胞の原形質流動の速度は 19  $\mu$ m/秒である。

【語群 C】

- ① 8.00 ② 1.25 ③ 25.00 ④ 0.80 ⑤ 9.60  
 ⑥ 7.50 ⑦ 10.00 ⑧ 5.00 ⑨ 0.20 ⑩ 50.00

(2) 光学顕微鏡を使ってタマネギのりん葉やジャガイモの細胞を観察した。下記の文中に適切な言葉を語群 B より選びなさい。

9 ～ 15

a) タマネギ

- ① タマネギのりん葉の内側の表皮にかみそりの刃で約 5mm 角の切込みを入れ、ピンセットで表皮をはぎ取り、スライドグラスにのせ試薬を 1 滴落として、その上からカバーグラスをのせてプレパラートを作成した。

b) ジャガイモ

- ① ジャガイモの皮をむいてかみそりの刃でできるだけ薄く切り取る。  
 ② スライドグラスの上に置き、試薬を 1 滴落としてカバーグラスをのせてプレパラートを作る。

a) のタマネギの細胞の観察で細胞壁と核を染色するのに用いられた試薬は 9 である。核は、10 色に染まった。細胞を生きたままの状態に近く保存する操作は、固定である。固定液は 11 やカルノア液が用いられる。

b) のジャガイモの染色につかわれた試薬は 12 で 13 色に染まる。観察するとき倍率を 2 倍にすると焦点深度が 14 なり、観察できる面積は 15 となる。

【語群 B】

- ① スダンⅢ ② ホルマリン ③ 酢酸オルセイン液  
 ④ 赤 ⑤ 1/2 ⑥ 青紫 ⑦ 1/4 ⑧ ヨウ素液  
 ⑨ 浅く ⑩ 深く

問2 DNA の抽出実験である。次の問い a)～d) に答えなさい。

20 ～ 23

- 1) ニワトリの肝臓約 10g を乳鉢ですりつぶし、次に消化酵素 a) を加えて、さらによく攪拌する。  
 2) 次に 15% の食塩水を加えて b) よく攪拌する。  
 3) 2) をビーカに移し、100℃で 5 分間湯せん c) する。  
 4) 4 枚重ねのガーゼでろ過をする。  
 5) ろ液を冷却し、前もって冷却をしていたエタノールを加える d)。  
 6) ガラス棒で静かに攪拌し、糸状の物質を巻きとる。

a) 肝臓をすりつぶすことで細胞がばらばらになり、消化酵素が作用しやすくなる。この時用いられる酵素として適切なものを選びなさい。 20

- ① リパーゼ ②  $\alpha$ -アミラーゼ ③ トリプシン ④ ラクターゼ

b) 食塩水を加える理由を選びなさい。 21

- ① DNA が正に帯電している。 ② DNA が負に帯電している。  
 ③ DNA を活性化させる。 ④ DNA を不活性化させる。

c) 湯せんする目的を選びなさい。 22

- ① タンパク質と DNA とを結合させる。  
 ② タンパク質と DNA とを分離する。

d) エタノールの作用を選びなさい。 23

- ① 分散性をよくする。 ② 凝集性をよくする。  
 ③ 脱水作用。 ④ 可溶性を高める。

問 3 次の問いに答えなさい。

(1) 語群より適切な語句を選びなさい。 24 ～ 31

ヒトの腎臓の働きは、体液の水分量や塩分濃度を調節し、老廃物を尿として排出することにある。腎臓には 24、25、26 の 3 つが接続している。また、27 (腎単位) と呼ばれる構造が約 100 万個ある。27 は 28 と 29 から成る。

腎小体は、30 が 31 で包み込まれるような構造である。尿の形成は動脈から腎臓に入った血液が、27 から 30 に入り 31 にこし出される。このこし出された液体が原尿である。原尿中の大部分の成分はほとんど再吸収される a) が、老廃物は尿として排出される。また、体液の塩分濃度は、脳のホルモン分泌量で調節される b)。

- ① 集合管 ② 腎う ③ ボーマンのう ④ 輸尿管 ⑤ ネフロン  
⑥ 細尿管 ⑦ 腎動脈 ⑧ 腎小体 ⑨ 腎静脈 ⑩ 糸球体

(2) 先の文中、下線 a) と b) についてそれぞれの語群より適切な言葉を選び、答えなさい。 32 ～ 34

a) 再吸収されないで尿として排出されるのはどれか。 32

- ① グルコース ② 尿素  
③ ナトリウムイオン ④ カリウムイオン

b) 脳のどこからホルモンが分泌されるか。 33  
また、分泌されるホルモンは何というか。 34

- ① 視床下部 ② 脳下垂体前葉 ③ 副腎髄質  
④ 脳下垂体後葉 ⑤ アドレナリン ⑥ アセチルコリン  
⑦ エストロゲン ⑧ パンクレチン

(3) ヒトの腎臓での尿形成に関する問題である。適切な数値を語群より選びなさい。 35 ～ 38

| 成 分    | 血しょう  | 原尿    | 尿     |
|--------|-------|-------|-------|
| タンパク質  | 7.2   | 0     | 0     |
| グルコース  | 0.1   | 0.1   | 0     |
| 尿素     | 0.03  | 0.03  | 2.0   |
| 尿酸     | 0.004 | 0.004 | 0.05  |
| クレアチニン | 0.001 | 0.001 | 0.075 |
| インスリン  | 0.01  | 0.01  | 1.2   |

単位 (%)

インスリンを静脈注射し、血しょう、原尿、尿中の各主成分の濃度を測定した結果である。次の問いに答えなさい。この時 1 時間後に採取された尿量は 60mL であった。

インスリンは体内に存在しない物質で、原尿中にろ過され、まったく再吸収されずにすべて尿に排出される。

- (1) 尿素の濃縮率を求めなさい。 35 倍  
(2) クレアチニンの濃縮率を求めなさい。 36 倍  
(3) 10 分間にこし出された原尿の量はいくらか。 37 mg  
(4) グルコースが 10 分間で再吸収された量を求めなさい。  
38 mg

- ① 1.2 ② 12 ③ 7 ④ 8  
⑤ 1200 ⑥ 75 ⑦ 120 ⑧ 67

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

平成二十八年度 京都華頂大学 推薦入学試験 ①

教養問題（現代文） 模範解答

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

問題一

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
| 16 | 11 | 6  | 1  |
| 10 | 2  | 9  | 7  |
| 17 | 12 | 7  | 2  |
| 3  | 4  | 2  | 8  |
| 18 | 13 | 8  | 3  |
| 1  | 1  | 5  | 9  |
| 19 | 14 | 9  | 4  |
| 6  | 6  | 1  | 3  |
| 20 | 15 | 10 | 5  |
| 9  | 5  | 7  | 5  |

問題二

|    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 問八 | 問七 | 問六 | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
| 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 |
| 4  | 2  | 5  | 5  | 1  | 3  | 4  | 5  |

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

平成28年度 京都華頂大学 推薦入学試験 ①

英語 模範解答

|       |     |    |     |    |     |    |
|-------|-----|----|-----|----|-----|----|
| (I)   | 1   | 2  | 3   |    |     |    |
|       | 4   | 2  | 1   |    |     |    |
| (II)  | 4   | 5  | 6   | 7  | 8   |    |
|       | 2   | 4  | 4   | 2  | 3   |    |
|       | 9   | 10 | 11  | 12 | 13  |    |
|       | 2   | 1  | 4   | 3  | 4   |    |
| (III) | 〔A〕 |    | 〔B〕 |    | 〔C〕 |    |
|       | 14  | 15 | 16  | 17 | 18  | 19 |
|       | 4   | 2  | 6   | 5  | 1   | 4  |
| (IV)  | 20  | 21 | 22  | 23 | 24  | 25 |
|       | 3   | 2  | 1   | 4  | 4   | 6  |

※順不同

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

平成二十八年 京都華頂大学 推薦入学試験 ②

教養問題（現代文） 模範解答

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

問題一

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
| 16 | 11 | 6  | 1  |
| 7  | 6  | 1  | 4  |
| 17 | 12 | 7  | 2  |
| 9  | 9  | 2  | 6  |
| 18 | 13 | 8  | 3  |
| 4  | 8  | 10 | 8  |
| 19 | 14 | 9  | 4  |
| 3  | 10 | 6  | 5  |
| 20 | 15 | 10 | 5  |
| 1  | 7  | 5  | 3  |

問題二

|    |    |    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 問九 | 問八 | 問七 | 問六 | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
| 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 |
| 2  | 1  | 4  | 2  | 1  | 4  | 5  | 3  | 3  |

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

平成28年度 京都華頂大学 推薦入学試験 ②

英語 模範解答

|     |     |    |     |    |       |
|-----|-----|----|-----|----|-------|
| (Ⅰ) | 1   | 2  | 3   |    |       |
|     | 2   | 4  | 3   |    |       |
| (Ⅱ) | 4   | 5  | 6   | 7  | 8     |
|     | 1   | 3  | 3   | 3  | 4     |
|     | 9   | 10 | 11  | 12 | 13    |
| (Ⅲ) | 2   | 2  | 4   | 1  | 4     |
|     | 〔A〕 |    | 〔B〕 |    | 〔C〕   |
|     | 14  | 15 | 16  | 17 | 18 19 |
| (Ⅳ) | 4   | 6  | 1   | 6  | 6 3   |
|     | 20  | 21 | 22  | 23 | 24 25 |
|     | 2   | 2  | 3   | 3  | 2 5   |

※順不同

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

平成二十八年 京都華頂大学 推薦入学試験 ③

教養問題（現代文） 模範解答

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

問題一

| 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
|----|----|----|----|
| 16 | 11 | 6  | 1  |
| 5  | 2  | 9  | 8  |
| 17 | 12 | 7  | 2  |
| 2  | 4  | 5  | 7  |
| 18 | 13 | 8  | 3  |
| 8  | 3  | 6  | 4  |
| 19 | 14 | 9  | 4  |
| 4  | 5  | 8  | 5  |
| 20 | 15 | 10 | 5  |
| 6  | 6  | 2  | 9  |

問題二

| 問九 | 問八 | 問七 | 問六 | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
|----|----|----|----|----|----|----|----|----|
| 29 | 28 | 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 |
| 3  | 1  | 2  | 5  | 1  | 4  | 4  | 1  | 4  |

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

平成28年度 京都華頂大学 推薦入学試験 ③

英語 模範解答

|     |     |    |     |    |       |
|-----|-----|----|-----|----|-------|
| (Ⅰ) | 1   | 2  | 3   |    |       |
|     | 2   | 4  | 3   |    |       |
| (Ⅱ) | 4   | 5  | 6   | 7  | 8     |
|     | 4   | 2  | 4   | 3  | 3     |
|     | 9   | 10 | 11  | 12 | 13    |
| (Ⅲ) | 4   | 2  | 4   | 3  | 4     |
|     | 〔A〕 |    | 〔B〕 |    | 〔C〕   |
|     | 14  | 15 | 16  | 17 | 18 19 |
| (Ⅳ) | 2   | 5  | 6   | 4  | 2 5   |
|     | 20  | 21 | 22  | 23 | 24 25 |
|     | 3   | 2  | 3   | 3  | 1 4   |

※順不同

受験番号

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

\*

は記入不要です

平成28年度 京都華頂大学 推薦入学試験 ③

化学基礎・生物基礎 模範解答

化学基礎

(Ⅰ)

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 1  | 2  | 3  | 4  | 5  |
| 2  | 4  | 9  | 8  | 3  |
| 6  | 7  | 8  | 9  | 10 |
| 6  | 7  | 5  | 10 | 1  |
| 11 | 12 | 13 | 14 |    |
| 10 | 3  | 5  | 7  |    |

(Ⅱ)

|    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 15 | 16 | 17 | 18 | 19 | 20 | 21 |
| 7  | 8  | 7  | 8  | 1  | 3  | 6  |

生物基礎

(Ⅲ)

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 22 | 23 | 24 | 25 | 26 |
| 10 | 9  | 1  | 8  | 2  |
| 27 | 28 | 29 | 30 |    |
| 7  | 3  | 6  | 4  |    |

(Ⅳ)

|    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|
| 31 | 32 | 33 | 34 | 35 |
| 9  | 2  | 5  | 6  | 3  |
| 36 | 37 | 38 | 39 |    |
| 8  | 4  | 7  | 1  |    |

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

平成二十八年 度 京 都 華 頂 大 学 一 般 入 学 試 験 ①

教養問題（現代文） 模 範 解 答

問題一

|    |    |    |    |
|----|----|----|----|
| 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
| 16 | 11 | 6  | 1  |
| 8  | 4  | 2  | 5  |
| 17 | 12 | 7  | 2  |
| 3  | 3  | 4  | 3  |
| 18 | 13 | 8  | 3  |
| 5  | 10 | 6  | 9  |
| 19 | 14 | 9  | 4  |
| 1  | 5  | 8  | 1  |
| 20 | 15 | 10 | 5  |
| 9  | 6  | 5  | 4  |

問題二

|    |    |    |    |    |    |    |
|----|----|----|----|----|----|----|
| 問七 | 問六 | 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
| 27 | 26 | 25 | 24 | 23 | 22 | 21 |
| 9  | 2  | 3  | 2  | 5  | 3  | 1  |
| 28 |    |    |    |    |    |    |
| 6  |    |    |    |    |    |    |

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

平成28年度 京 都 華 頂 大 学 一 般 入 学 試 験 ①

英 語 模 範 解 答

|     |     |    |     |    |       |
|-----|-----|----|-----|----|-------|
| (Ⅰ) | 1   | 2  | 3   |    |       |
|     | 3   | 2  | 4   |    |       |
| (Ⅱ) | 4   | 5  | 6   | 7  | 8     |
|     | 3   | 3  | 3   | 2  | 4     |
|     | 9   | 10 | 11  | 12 | 13    |
| (Ⅲ) | 1   | 1  | 2   | 3  | 4     |
|     | 〔A〕 |    | 〔B〕 |    | 〔C〕   |
|     | 14  | 15 | 16  | 17 | 18 19 |
| (Ⅳ) | 4   | 1  | 3   | 6  | 5 1   |
|     | 20  | 21 | 22  | 23 | 24 25 |
|     | 3   | 4  | 1   | 1  | 1 3   |

※順不同

受験番号

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

\*

は記入不要です

平成28年度 京都華頂大学 一般入学試験 ①

化学 模範解答

|     |   |   |           |   |   |           |   |   |   |   |
|-----|---|---|-----------|---|---|-----------|---|---|---|---|
| 問 1 | ① | ② | ③         | ④ | ⑤ | ⑥         |   |   |   |   |
|     | ② | ③ | ⑤<br>※順不同 | ① | ④ | ⑥<br>※順不同 |   |   |   |   |
| 問 2 | ⑦ | ⑧ | ⑨         | ⑩ | ⑪ |           |   |   |   |   |
|     | ④ | ③ | ⑦         | ② | ⑤ |           |   |   |   |   |
| 問 3 | ⑫ | ⑬ | ⑭         | ⑮ | ⑯ | ⑰         | ⑱ | ⑲ | ⑳ | ㉑ |
|     | ④ | ① | ⑤         | ③ | ① | ②         | ② | ⑤ | ③ | ④ |
| 問 4 | ㉒ | ㉓ | ㉔         | ㉕ | ㉖ | ㉗         |   |   |   |   |
|     | ⑥ | ① | ⑦         | ④ | ② | ③         |   |   |   |   |
| 問 5 | ㉘ | ㉙ | ㉚         | ㉛ |   |           |   |   |   |   |
|     | ③ | ① | ⑤         | ⑥ |   |           |   |   |   |   |
| 問 6 | ㉜ | ㉝ | ㉞         | ㉟ | ㊱ | ㊲         | ㊳ |   |   |   |
|     | ② | ③ | ④         | ③ | ② | ④         | ⑧ |   |   |   |

受験番号

|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|
|  |  |  |  |  |
|--|--|--|--|--|

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

\*

は記入不要です

平成28年度 京都華頂大学 一般入学試験 ①

生物 模範解答

|   |   |   |   |   |   |   |   |   |   |
|---|---|---|---|---|---|---|---|---|---|
| ① | ② | ③ | ④ | ⑤ | ⑥ | ⑦ | ⑧ | ⑨ | ⑩ |
| ④ | ④ | ② | ③ | ③ | ③ | ② | ② | ⑤ | ④ |
| ⑪ | ⑫ | ⑬ | ⑭ | ⑮ | ⑯ | ⑰ | ⑱ | ⑲ | ⑳ |
| ② | ② | ② | ① | ④ | ① | ④ | ① | ③ | ② |
| ㉑ | ㉒ | ㉓ | ㉔ | ㉕ | ㉖ | ㉗ | ㉘ | ㉙ | ㉚ |
| ③ | ④ | ② | ④ | ② | ④ | ② | ② | ② | ③ |

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

平成二十八年 京都華頂大学 一般入学試験 ②

教養問題（現代文） 模範解答

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

問題一

| 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
|----|----|----|----|
| 16 | 11 | 6  | 1  |
| 4  | 2  | 5  | 6  |
| 17 | 12 | 7  | 2  |
| 7  | 1  | 10 | 7  |
| 18 | 13 | 8  | 3  |
| 3  | 6  | 4  | 10 |
| 19 | 14 | 9  | 4  |
| 6  | 5  | 7  | 1  |
| 20 | 15 | 10 | 5  |
| 1  | 9  | 2  | 4  |

問題二

| 問五 | 問四 | 問三 | 問二 | 問一 |
|----|----|----|----|----|
| 29 | 28 | 27 | 22 | 21 |
| 2  | 4  | 5  | 5  | 3  |
|    |    |    | 23 |    |
|    |    |    | 3  |    |
|    |    |    | 24 |    |
|    |    |    | 9  |    |
|    |    |    | 25 |    |
|    |    |    | 7  |    |
|    |    |    | 26 |    |
|    |    |    | 1  |    |

|      |  |  |  |  |
|------|--|--|--|--|
| 受験番号 |  |  |  |  |
|      |  |  |  |  |

|   |   |
|---|---|
| * | * |
|---|---|

|   |
|---|
| * |
|---|

\*は記入不要です

平成28年度 京都華頂大学 一般入学試験 ②

英語 模範解答

|     |     |    |     |    |       |
|-----|-----|----|-----|----|-------|
| (Ⅰ) | 1   | 2  | 3   |    |       |
|     | 2   | 2  | 4   |    |       |
| (Ⅱ) | 4   | 5  | 6   | 7  | 8     |
|     | 2   | 4  | 2   | 4  | 3     |
|     | 9   | 10 | 11  | 12 | 13    |
|     | 4   | 2  | 4   | 2  | 3     |
| (Ⅲ) | 〔A〕 |    | 〔B〕 |    | 〔C〕   |
|     | 14  | 15 | 16  | 17 | 18 19 |
| (Ⅳ) | 4   | 1  | 1   | 2  | 5 1   |
|     | 20  | 21 | 22  | 23 | 24 25 |
|     | 4   | 2  | 3   | 3  | 2 5   |

※順不同

